

2025年度

情報コミュニケーション学部シラバス

履修の手引き

School of Information and Communication

明 治 大 学

目次

ページ 記載事項

- 3 | 学部長あいさつ
- 4 | 学位授与方針と教育課程編成・実施方針
- 5 | シラバスの使い方・学年暦
- 6 | 学部役職・クラス主任
- 7 | 履修登録日程（1～4年生）
- 10 | 履修登録について（詳細）
- 14 | マイカリキュラムの作成について（1・2年生向け）
- 15 | 1年次履修計画（時間割作成）について（参考）
- 16 | 和泉キャンパス 受講者制限科目一覧
- 18 | 基礎ゼミナール 定員・重視項目一覧（1年生向け）
- 19 | 問題発見テーマ演習 定員・募集パターン一覧（2年生向け）
- 20 | 駿河台キャンパス 受講者制限科目一覧
- 21 | カリキュラム別の科目読み替え表
- 23 | 先取り履修科目（3・4年次配当）一覧

I 2021年度以降入学者カリキュラム

- 25 | 設置科目一覧表（2025年度以降入学者用）
- 26 | 設置科目一覧表（2021年度以降入学者用）
- 27 | 卒業・進級・卒業見込に必要な単位
- 28 | 科目別注意事項
- 40 | カリキュラムマップ

II 2017年度から2020年度入学者カリキュラム

- 46 | 設置科目一覧表
- 47 | 卒業・進級・卒業見込に必要な単位
- 48 | 科目別注意事項

III 2013年度から2016年度入学者カリキュラム

- 61 | 設置科目一覧表
- 62 | 卒業・進級・卒業見込に必要な単位

IV 社会調査士およびCCNA資格について

- 63 | 社会調査士について
- 64 | 卒CCNA（Cisco Certified Network Associate）資格について

V 明治大学教務システムについて

- 65 | 明治大学教務システムマニュアル
- 66 | WEB履修に関するFAQ

VI その他資料

- 68 | 資料1. 情報コミュニケーション学部シラバス用語集
- 70 | 資料2. レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意
- 71 | 資料3. Oh-o! Meiji お知らせ転送設定手順
- 73 | 参考 情報コミュニケーション学部 時間割作成用シート

| 主体性を持って学び、自らの「問い」を発見・解決する4年間

情報コミュニケーション学部における教育と研究を支えるのは、「社会の現在（いま）を捉える」、「多様で学域横断的なアプローチ」「創造と表現」という3つの大きな柱です。学際性と多様性を重視するのが本学部の特徴であり、学びの対象が複数の学問領域を横断するため、学生一人ひとりの興味・関心に基づいた学びが可能であるところが魅力です。カリキュラムもこの3つの柱に従って展開されています。多様な最先端の研究を紹介することから始まり、学びの基礎を固めつつ、段階的に学際的なアプローチの実践を可能とするようにカリキュラムが設計されているのです。主体的に問いを発見し、一定の解決を得るために履修科目をカスタマイズすることと、課題解決のために全学年に設置されたゼミナール科目を有効に活用することで成り立つ、重層的な「学びの場」の提供が本学部のカリキュラムの最大の特徴と言えるでしょう。

もっとも、学際性を目指すのは容易なことではありません。学際的に学ぶとは単に隣接・類似しているように見える複数の科目を履修することではないのです。我々が講義・ゼミナールで提供したあらゆる基礎論から、それぞれの学生が自らの問いのもと問題領域を見出し、問題の解決を目指す知的な営み・実践こそが、情報コミュニケーション学部が標榜する「学際性」なのです。皆さん自身の学びの深度に応じて、問題領域は狭いものにとどまるかもしれませんが、無限に広がるかもしれません。だからこそ「学びにおける主体性」を自覚していただきたいと強く念願しています。

皆さんの主体的な学びを支えるため、本学部ではアクティブ・ラーニング、アクティブ・タームの実質化を推進しています。海外大学への留学プログラム及び「世界のキャンパスから」を含めた海外研究者と連携した教育プログラムのさらなる充実や、ゼミナールでの研究成果を披露する「研究交流祭」等の学生交流プログラムの拡充を図り、より一層学生の主体的な学びの機会を提供してまいります。

ぜひ情報コミュニケーション学部で多種多様な学びから、自らの「問い」を発見してください。問いの解決を目指して主体的に学ぶ4年間で得た糧は、きっと社会に出てから活躍する素養を育むことに繋がるはずです。

情報コミュニケーション学部長 阿部 力也

目指すべき人物像

情報コミュニケーション学部では、変化の大きい現代社会を多角的に探求し、そのなかから自ら問題を発見し、解決方法を探るプロセスを組み立てることができる人材の育成を目指しています。「情報コミュニケーション」をキーワードに文系・理系の枠を越えた教育カリキュラムを展開し、人文科学・社会科学・自然科学を包括する学際的な素養を身につけた、高度情報社会の水先案内人あるいはナビゲーターを育てることを目的としています。

そのための具体的到達目標

学修成果として、「学士（情報コミュニケーション学）」を授与される学生は、以下のような能力・知識を有します。

各科目区分の履修を通じて身につけた能力

- ①（学際科目群）：教養としての知識を学び、多角的に物事を考える能力。
 - ②（社会科学）：現代社会を理解する知識を学び、リーダーシップを発揮できる力。
 - ③（人文科学）：異文化を理解する知識を学び、批判的に思考する能力。
 - ④（自然科学）：論理的な思考方法を身につけ、データを重視する思考力。
 - ⑤（社会システム）：現代社会を理解する、高度かつ専門的な知識を学び、国際的課題に取り組む能力。
 - ⑥（文化と表象）：異文化理解のための専門的な知識を学び、高度なコミュニケーション能力を発揮する力。
 - ⑦（人間と環境）：新しい物事に挑戦する意識を高め、専門分野に関し身に付けた高度な知識。
 - ⑧（外国語科目）：外国語の運用能力を高め、高度なコミュニケーション能力を発揮する力。
 - ⑨（研究方法・表現実践科目）：調査・実践をおこなうための能力を身につけ、プレゼンテーション能力を発揮する力。
 - ⑩（ゼミナール科目）：問題点を発見し、解決する能力を会得し、高いプレゼンテーション能力とともに、リーダーシップを発揮できる力。
 - ⑪その他（海外留学科目群、ウェルネス科目群、キャリアデザイン科目群、情報リテラシー科目群、総合講座、国際教育プログラム科目）：調査・実践をおこなうための能力を身に付け、自主的に学び判断する能力。
- 上記科目群から所定の授業科目を履修のうえ、合計124単位以上を修得し、かつ本学学則に定める期間に在学することにより、情報コミュニケーション学部が目指す高度な教養を身につけ、情報社会における問題発見・解決の素養を涵養したと判断し、学士（情報コミュニケーション学）の学位を授与します。

情報コミュニケーション学部 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

教育課程の理念

情報コミュニケーション学部は、学生が大学で学ぶ期間を「問題を発見し、解決する4年間」と位置づけ、学生の主体性を最大限に尊重しています。そして、自らの意見を的確に表現し合意を形成できる能力の伸長に向けた体系的カリキュラムを組んでいます。

教育課程の構成

情報コミュニケーション学部では、社会科学を軸とした学域横断的な教育を目指し、「学際科目群」「専門科目群」「外国語科目群」「研究方法・表現実践科目群」といった〈科目プール〉を用意し、1年次から段階を経て高度情報社会に対応できる柔軟で幅広い教養を修得することが可能となるカリキュラムを設置しています。

学域横断的専門教育を重視し、1・2年生、3・4年生ごとに3つのフレーム（伝統的学問体系を意識した1・2年次「社会科学」「人文科学」「自然科学」、より学域横断性を意識した3・4年次「社会システム」「文化と表象」「人間と環境」）を設けています。

社会のグローバル化や多様化において必然的に求められる外国語の知識や技能の修得を目指す「外国語科目群」を設け、「研究方法・表現実践科目群」には、情報コミュニケーション学を理解し、自ら発信するために必要な能力を獲得するための諸科目を用意しました。

国際化を推進すべく、特に環太平洋地域の大学との交流を重視しています。これらを基本ポリシーに据え、海外留学を積極的に支援するための「海外留学科目群」を設け、留学関係科目（語学・実習）などを設置しています。

学問・研究だけが大学生活ではありません。情報コミュニケーション学部では、大学生活を健康に過ごし、また将来のキャリアアップに備えることを意識した科目も設置しています。

教育課程の特長

学部独自の必修科目として、「学際科目群」のうち、1・2年次に『情報コミュニケーション学入門』を置き、本学部が目指す学域横断的な学びを段階的に履修できるようにしています。また、情報コミュニケーション学部は、ゼミナール教育を重視しています。1年次から4年次までのすべての学年にゼミナール科目を配置し、問題の発見から解決までの過程を自ら主体的に学べるようにしています。

このように、情報コミュニケーション学部においては、社会で活躍するために必要とされる幅広い教養や多様な技能を段階的に修得できるカリキュラムが編成されています。

| シラバスの使い方

シラバスとは

シラバスとは、開講される科目の授業担当者・授業内容および履修に関する情報をまとめた冊子です。本冊子は、2025年度に情報コミュニケーション学部 に在籍している学生を対象に作成されています。

シラバスは「履修の手引き」と「授業概要」の2部構成となっており、本冊子（「履修の手引き」）では科目毎の注意事項や履修登録の日程等を記載しています。

「授業概要」には、内容や授業予定、評価方法等を記載しています。「授業概要」は学部HPまたはOh-o! Meijiシステムからご確認ください。

便覧との違い

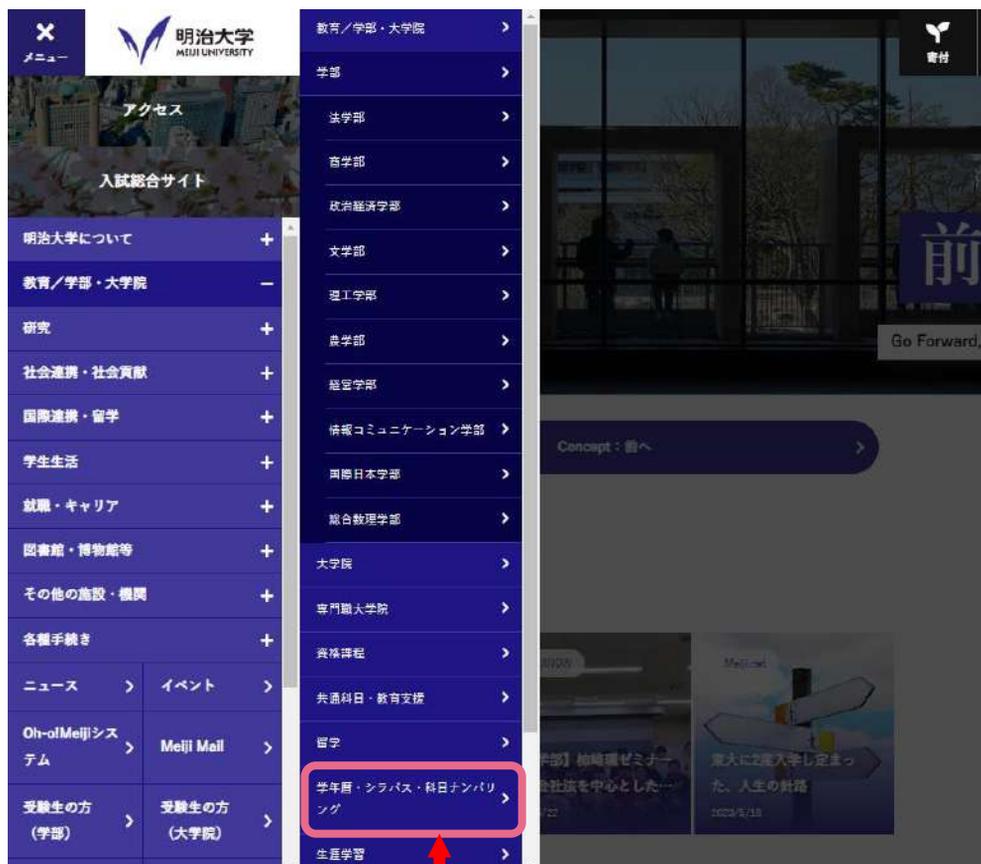
便覧には、該当年度の入学者を対象に、入学から卒業までの取り決めを記載しています。便覧に書かれている内容は、原則として入学から卒業まで、たとえ休学や原級をしても有効です。

一方で、シラバスの内容は、原則として当該年度に限り有効です。年度毎に発行されますので、年度が変わった場合は、新しい年度のシラバスを参照してください。

| 2025年度学年暦

学年暦は大学HPに掲載されています。

https://www.meiji.ac.jp/koho/academic_calendar/index.html



大学HP

→メニュー

→教育/学部・大学院

→学年暦・シラバス・科目ナンバリング

| 学部役職

学部長	阿部 力也
学科長	島田 剛
教務主任	横田 貴之
	鈴木 雅博
	山内 勇
一般教育主任	坂本祐太

| クラス主任

組	学年	1年	2年	3年	4年
1組		内藤まりこ	大黒岳彦	石川幹人	施利平
2組		宮本真也	鈴木健	施利平	石川幹人
3組		塚原康博	岩淵輝	ドウ, ティモシー J.	江下雅之
4組		山口生史	今村哲也	脇本竜太郎	熊田聖
5組		根橋玲子	田村理	清原聖子	山崎浩二
6組		鈴木健人	高馬京子	和田悟	日置貴之
7組		堀口悦子	川島高峰	蛭川立	清水晶紀
8組		中里裕美	田中洋美	小田光康	内藤まりこ
9組		小林秀行	竹中克久	塚原康博	後藤晶
10組		中川雄大	齋藤航	江下雅之	牛尾奈緒美

【1年生】 履修登録の日程について

<p>《Oh-o! Meiji クラスウェブ》 クラス指定科目発表 4月4日(金) 9:00</p> <p>【対象科目】 情報コミュニケーション学入門A・B 外国語科目群（英語及び選択必修外国語）</p>	<p>登録期間（抽選Ⅰ） 4月4日(金) 13:00 ～4月5日(土) 9:30</p> <p>【抽選結果発表】 4月7日(月) 9:00※予定</p> <p>【対象科目】 情コミ受講者制限科目</p>	<p>登録期間（抽選Ⅱ） 4月8日(火) 13:00 ～4月9日(水) 9:30</p> <p>【抽選結果発表】 4月9日(水) 20:00※予定</p> <p>【対象科目】 情コミ受講者制限科目（残席分）</p>
--	---	---

<p>登録期間（本登録・抽選Ⅲ） 4月12日(土) 9:30 ～4月14日(月) 9:30</p> <p>【抽選結果発表・個人別時間割公開】 4月15日(火) 9:00※予定</p> <p>【本登録対象科目】 情コミ受講者制限をしない科目 他学部科目</p> <p>【抽選対象科目】 情コミ受講者制限科目（残席分）</p>	<p>履修修正期間 4月19日(土) 9:30 ～4月21日(月) 9:30</p> <p>【履修修正反映版個人別時間割公開】 4月22日(火)</p> <p>履修修正の対象科目については、 詳細（p.13）を確認すること。 ※方法については履修ガイダンス 動画に付随する別紙にて案内</p>
---	--

・他学部履修科目については、
設置学部が履修を許可した科目
のみ履修することができます。
各学部の案内を確認してください。

・情報関係科目
・全学共通総合講座
・学部間共通外国語
・グローバル人材育成プログラム
については、大学HP
(<https://www.meiji.ac.jp/koh/o/syllabus/index.html>)にて
確認してください。

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4 クラス指定 科目発表	5	6
				《WEB履修》 登録期間 (抽選Ⅰ)		
7	8	9	10	11	12	13
	《WEB履修》 登録期間 (抽選Ⅱ)				《WEB履修》 登録期間 (本登録 ・抽選Ⅲ)	
14	15	16	17	18	19	20
	個人別 時間割公開				履修修正期間	
21	22	23	24	25	26	27
	履修修正反 映・個人別 時間割公開					

【2年生】 履修登録の日程について

<p>《Oh-o! Meiji クラスウェブ》 クラス指定科目発表 4月4日(金) 9:00</p> <p>【対象科目】 Critical Reading / Critical Discussion English Skills (再履修) 選択必修外国語 (再履修) 情報コミュニケーション学入門A・B (再履修)</p>	<p>登録期間 (抽選Ⅰ) 4月4日(金) 13:00 ~ 4月5日(土) 9:30 【抽選結果発表】 4月7日(月) 9:00 ※予定</p> <p>【対象科目】 情コミ受講者制限科目 先取り履修科目 (3・4年次配当科目)</p>	
<p>登録期間 (抽選Ⅱ) 4月8日(火) 13:00 ~ 4月9日(水) 9:30</p> <p>【抽選結果発表】 4月9日(水) 20:00 ※予定</p> <p>【対象科目】 情コミ受講者制限科目 (残席分)</p>	<p>登録期間 (本登録・抽選Ⅲ) 4月12日(土) 9:30 ~ 4月14日(月) 9:30</p> <p>【抽選結果発表・個人別時間割公開】 4月15日(火) 9:00 ※予定</p> <p>【本登録対象科目】 情コミ受講者制限をしない科目 他学部科目</p> <p>【抽選対象科目】 情コミ受講者制限科目 (残席分)</p>	<p>履修修正期間 4月19日(土) 9:30 ~ 4月21日(月) 9:30</p> <p>【履修修正反映版個人別時間割公開】 4月22日(火)</p> <p>履修修正の対象科目については、 詳細 (p.13) を確認すること。 ※方法についてはOh-o! Meijiにて連絡</p>

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4 クラス指定 科目発表	5	6
	7	8 《WEB履修》 登録期間 (抽選Ⅱ)	9	10	11	12 《WEB履修》 登録期間 (本登録・抽選Ⅲ)
14	15 個人別 時間割公開	16	17	18	19	20 履修修正期間
21	22 履修修正反 映・個人別 時間割公開	23	24	25	26	27

【3・4年生】 履修登録の日程について

<p>登録期間（抽選Ⅰ） <u>4月4日（金）13:00</u> <u>～4月5日（土）9:30</u></p> <p>【抽選結果発表】 4月7日（月）9:00※予定</p> <p>【対象科目】 情コミ受講者制限科目 ICT科目</p>	<p>登録期間（抽選Ⅱ） <u>4月8日（火）13:00</u> <u>～4月9日（水）9:30</u></p> <p>【抽選結果発表】 4月9日（水）20:00※予定</p> <p>【対象科目】 情コミ受講者制限科目（残席分） ICT科目（残席分） 全学共通総合講座（抽選対象科目のみ）</p>	<p>登録期間（<u>本登録</u>・抽選Ⅲ） <u>4月12日（土）9:30</u> <u>～4月14日（月）9:30</u></p> <p>【抽選結果発表・個人別時間割公開】 4月15日（火）9:00※予定</p> <p>【<u>本登録</u>対象科目】 <u>情コミ受講者制限をしない科目</u> 他学部科目 学部共通外国語 全学共通総合講座（抽選対象科目以外）</p> <p>【抽選対象科目】 情コミ受講者制限科目（残席分） ICT科目（残席分）</p>
--	---	--

履修修正期間
4月19日（土）9:30
～4月21日（月）9:30

【履修修正反映版個人別時間割公開】
 4月22日（火）

※科目の追加および取消が可能
 ※受講者制限科目は**修正不可**なのでご注意ください。

・情報関係科目 ・全学共通総合講座 ・学部間共通外国語
 ・グローバル人材育成プログラム については、最新情報を大学HP
 (<https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/index.html>) で確認してください。

※ウェルネススポーツA・B…Oh-o!Meijiアンケート機能から申込
 ※ウェルネススポーツC・D…春学期初回授業に参加し、抽選
 秋科目の履修を希望する場合も、春の同一曜日時限の初回授業に参加すること
 ※社会調査実習…春学期初回授業に参加
 ※映像表現論、国際交流（タイ・イギリス・メディア）、実践キャリア
 支援講座…Oh-o!Meijiにて別途お知らせ

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
				《WEB履修》 登録期間 (抽選Ⅰ)		
7	8	9	10	11	12	13
	《WEB履修》 登録期間 (抽選Ⅱ)				《WEB履修》 登録期間 (<u>本登録</u> ・抽選Ⅲ)	
14	15	16	17	18	19	20
	個人別 時間割公開				履修修正期間	
21	22	23	24	25	26	27
	履修修正反映・個人別 時間割公開					

履修登録の日程等について

授業科目の履修にあたっては、本シラバス、履修ガイダンス資料及び「情報コミュニケーション学部便覧」を確認の上、4年間の学部課程において、卒業に必要な授業科目と単位を計画的かつ余裕をもって修得するとともに、充実した学習計画をたて自己の勉学目標を達成するよう努めること。

Oh-o! Meiji

学部事務室からの連絡、休講・教室変更について送信します。頻繁に確認してください。
<https://www.meiji.ac.jp/infocom/index.html>

問合せフォーム

<https://www.meiji.ac.jp/koho/natural-disaster/form.html>

	事務室の場所	事務取扱時間（授業期間中） ※夏季・春季休業中及び入学試験期間等は別途案内予定
1・2年次	和泉キャンパス 第一校舎1階	平日 9:00～11:30、12:30～16:30 土曜 9:00～12:00
3・4年次	駿河台キャンパス リパティタワー5階	平日 9:00～11:30、12:30～16:30 土曜 9:00～12:00

1. 履修上の注意

- (1) 一度履修し単位認定された科目は再び履修できない。
ただし、取扱いの異なる科目があるのでシラバスを確認すること。
- (2) 同一科目が複数開講されていても履修できるのは原則1コマのみ。
- (3) 上級年次履修開始科目は履修できない。
- (4) 下級年次履修開始科目で、単位未修得の科目は履修することができる。
- (5) 同一曜日・時限の科目は、重複して履修することができない。
- (6) I・IIの組み合わせになっている科目は段階履修とし、IIの履修にはそれぞれのIを履修中または修得済であることが必要である（2016年度以前入学者は個々の科目の取り扱いに従うこと）。
ただし、英語科目および3・4年次ゼミナール科目についてはこの限りではない。
- (7) 同一日に異なるキャンパスで開講の授業を履修する場合、キャンパス間の移動時間確保のため、連続して履修することができない。ただし、2時限目と3時限目のみ連続して履修することができる。
- (8) 入学年度によって、一部科目名称が異なっているので注意すること。☞P.21～22

2. 履修単位数

1年間の履修上限単位数等	
春学期	秋学期
24単位まで	24単位まで

履修上限単位数に含む科目	履修上限単位数に含まない科目 ※履修上限単位数を超えて履修可
自学部設置科目 ※「国際交流（留学を伴う科目）」を除く 再履修科目 他学部履修科目	国際交流（留学を伴う科目のみ） 卒業論文・卒業制作（2021年度以降入学者のみ履修可） 認定科目（プレカレッジプログラム※付属校生のみ）
全学共通総合講座 学部間共通外国語※夏期・春期集中講座を除く	学部間共通外国語※夏期・春期集中講座のみ
共通日本語科目（留学生のみ）	資格課程設置科目
グローバル人材育成プログラム科目 ※長期休業期間中の海外留学を伴う科目を除く	グローバル人材育成プログラム科目 ※長期休業期間中の海外留学を伴う科目のみ

3. 履修登録等について

（1）履修申請

主として「明治大学教務システム」より履修申請を受け付ける。

P.65の「明治大学教務システムについてのマニュアル」を参照し、

以下のことに注意のうえ履修申請をすること。

- ア 科目により日程・申請方法が異なる（明治大学教務システム以外から申請する場合もある）ので注意すること。
- イ 「受講者制限科目（P.16～20参照）」は履修確定後の変更・削除を受け付けられないため、しっかりと履修計画を立てたうえで申請すること。
- ウ 履修申請期間内に正しく申請されていない場合は、授業科目を受講・受験しても単位は与えられないので、申請手続に不備のないよう注意すること。
- エ 学部設置科目以外の履修申請方法は、該当科目のシラバスを参照すること。

(2) 履修日程

STEP 0	履修登録受付開始までに必要事項を確認 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 共通認証パスワードを確認。(明治大学教務システムを利用するために必要)<input type="checkbox"/> シラバス・授業時間割表を確認し1年間(春学期・秋学期)の履修計画を立てる。<input type="checkbox"/> 履修登録の日程を確認する。(P.7~9参照)
<p>*【2年生以降対象】ウェルネス・スポーツA・B は Oh-o! Meijiアンケート機能から申込みを受付する。※詳細は履修ガイダンス資料参照</p>	
STEP 1	履修登録期間(抽選Ⅰ) <p>【対象科目】</p> <ul style="list-style-type: none">・情コミ受講者制限科目・先取り履修科目(3-4年次配当科目)※2年生対象 <p>(対象科目はP.16~20・23参照)</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 希望者が履修定員を超えた場合は自動抽選を行い、当選者のみ履修登録される。<input type="checkbox"/> 履修エラー(同じ曜日時限の重複履修等)の場合、申込みは無効となる。<input type="checkbox"/> 各自WEB履修登録画面で履修登録されているかを必ず確認すること。 <p>【申込期間】 4月4日(金) 13:00 ~ 4月5日(土) 9:30</p> <p>【結果発表】 4月7日(月) 9:00 (予定)</p>
STEP 2	履修登録期間(抽選Ⅱ) <p>【対象科目】</p> <ul style="list-style-type: none">・情コミ受講者制限科目 ※残席分 <p>(対象科目はP.16~20参照)</p> <p>【申込期間】 4月8日(火) 13:00 ~ 4月9日(水) 9:30</p> <p>【結果発表】 4月9日(水) 20:00 (予定)</p>
STEP 3	WEB履修登録期間(本登録・抽選Ⅲ) <p>【本登録対象科目】</p> <ul style="list-style-type: none">・情コミ受講者制限をしない科目 <p>【抽選対象科目】</p> <ul style="list-style-type: none">・情コミ受講者制限科目 ※残席分・他学部科目 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 履修希望者が教室定員を超えた場合、登録期間終了後に抽選となる場合がある。<input type="checkbox"/> 他学部開講科目の履修可否・シラバス・時間割については別途案内する。 <p>【申込期間】 4月12日(土) 9:30 ~ 4月14日(月) 9:30</p> <p>【結果発表】 4月15日(火) 9:00 (予定)</p>
STEP 4	履修修正期間 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 科目の追加および削除が可能。ただし受講者制限科目は修正不可。 <p>【履修修正期間】 4月19日(土) 9:30 ~ 4月21日(月) 9:30</p> <p>【個人別時間割公開】 4月22日(火)</p>

4. 履修修正について ※希望者のみ

止むを得ない事情で一度登録した科目を「削除」または「追加」する場合、所定の手続期間にのみ履修内容の修正（履修修正）を認める。履修修正で認められる内容および手続方法は、各学期によって異なる。手続期間を過ぎての修正は一切認められないので注意すること。

春学期：追加・削除共に受付

期間	4月19日(土) 9:30 ~ 4月21日(月) 9:30
追加不可の科目	・ゼミナール科目 ・受講者制限科目 ・履修者が教室定員を超えている科目
取消不可の科目	・クラス指定の科目 ・受講者制限科目 (P.16~20参照) ・ゼミナール科目 ・先取り履修科目【2年生対象】 ・グローバル人材育成プログラム科目 ・全学共通総合講座および学部間共通外国語のうち、抽選で申し込んだ科目

秋学期：追加・削除共に受付

期間	9月（詳細な日程は確定次第お知らせします）
取消不可の科目	・クラス指定の科目 ・受講者制限科目 (P.16~20参照) ・ゼミナール科目 ・先取り履修科目【2年生対象】 ・グローバル人材育成プログラム科目 ・全学共通総合講座および学部間共通外国語のうち、抽選で申し込んだ科目
追加不可の科目	・ゼミナール科目 ・卒業論文・卒業制作 ・履修者が教室定員を超えている科目
追加可能な科目	・本学部設置科目（※定員に空きのない受講者制限科目（P.16~20参照）を除く） ・学部間共通外国語（※定員に空きのある科目のみ） ・全学共通総合講座（※定員に空きのある科目のみ） ・グローバル人材育成プログラム科目

👉 履修修正期間後に、Oh-o!Meiji のポータルページで時間割に修正内容が反映されていることを必ず確認すること。



履修予定の科目について、履修登録が完了していない場合も初回授業から出席すること。

授業開始日 春学期 4月10日
秋学期 9月20日

マイカリキュラムの作成について (1・2年生向け)

1、2年生のみなさん、3年次以降の研究テーマはイメージできていますでしょうか。何をやりたいかわからないまま大学生活を過ごしてしまわないよう、3年次からの研究の方向性、ゼミ選択を念頭に「マイカリキュラム」を作成しましょう。将来の自分の姿を思い描くうえで、助けになってくれるはずですよ。なお、「マイカリキュラム」は1年次の秋学期、2年次の秋学期にそれぞれ作成・提出が必須となります。

3年次からの専門科目は、1、2年次と比べて、より専門性と学際性が高くなっていきます。これらの専門科目は「社会システム」「文化と表象」「人間と環境」という3つのフレームから自由に履修することができます。自分の研究テーマを意識し「マイカリキュラム」を完成させましょう。

『履修モジュール』の活用

もしマイカリキュラム作成に迷ったら、大学HPに掲載の履修モジュール（[マイカリキュラム-カスタマイズできるカリキュラム](#)）を参考にしてみましょう。本シラバスp.25の「設置科目一覧表」で、専門科目群を参照しながら、履修モジュールを具体例として考えてみるとよいでしょう。もちろん、この履修モジュールは一例ですので、自由に研究テーマを設定して構いません。

「マイカリキュラム」作成事例

★研究テーマ 「ブランドの機能と意味を考える」

<1・2年次>

「哲学」「組織論」「情報社会と経済」「経営学」「社会学A・B」

<3・4年次>

「広告論」「記号論」「組織と情報」「情報と経済行動」「消費行動の心理学」

★研究テーマ 「宗教から世界を読み解く」

<1・2年次>

「異文化理解」「宗教学」「地域文化論（基礎）」「政治学」「新興国事情」

「西洋史概論」「東洋史概論」

<3・4年次>

「現代政治学Ⅰ・Ⅱ」「地域文化論」「多文化と相互理解Ⅰ・Ⅱ」

「国際関係論Ⅰ・Ⅱ」「異文化間コミュニケーション」

マイカリキュラム提出日程等について

<1年次>マイカリキュラム作成スケジュール

4月：カリキュラムガイダンス

情報コミュニケーション学入門（初回）

12月：第1回マイカリキュラム提出（Oh-o! Meiji アンケート）

・関心のあるテーマ

・その概要

・履修予定の科目 etc.

1月：情報コミュニケーション学入門（最終回）

（全体講評、2年次のマイカリキュラム提出について）

<2年次>マイカリキュラム提出スケジュール

4月：マイカリキュラムガイダンス

11月：第2回マイカリキュラム提出（Oh-o! Meiji アンケート）

・研究テーマ

・研究概要

・履修予定の科目 etc.

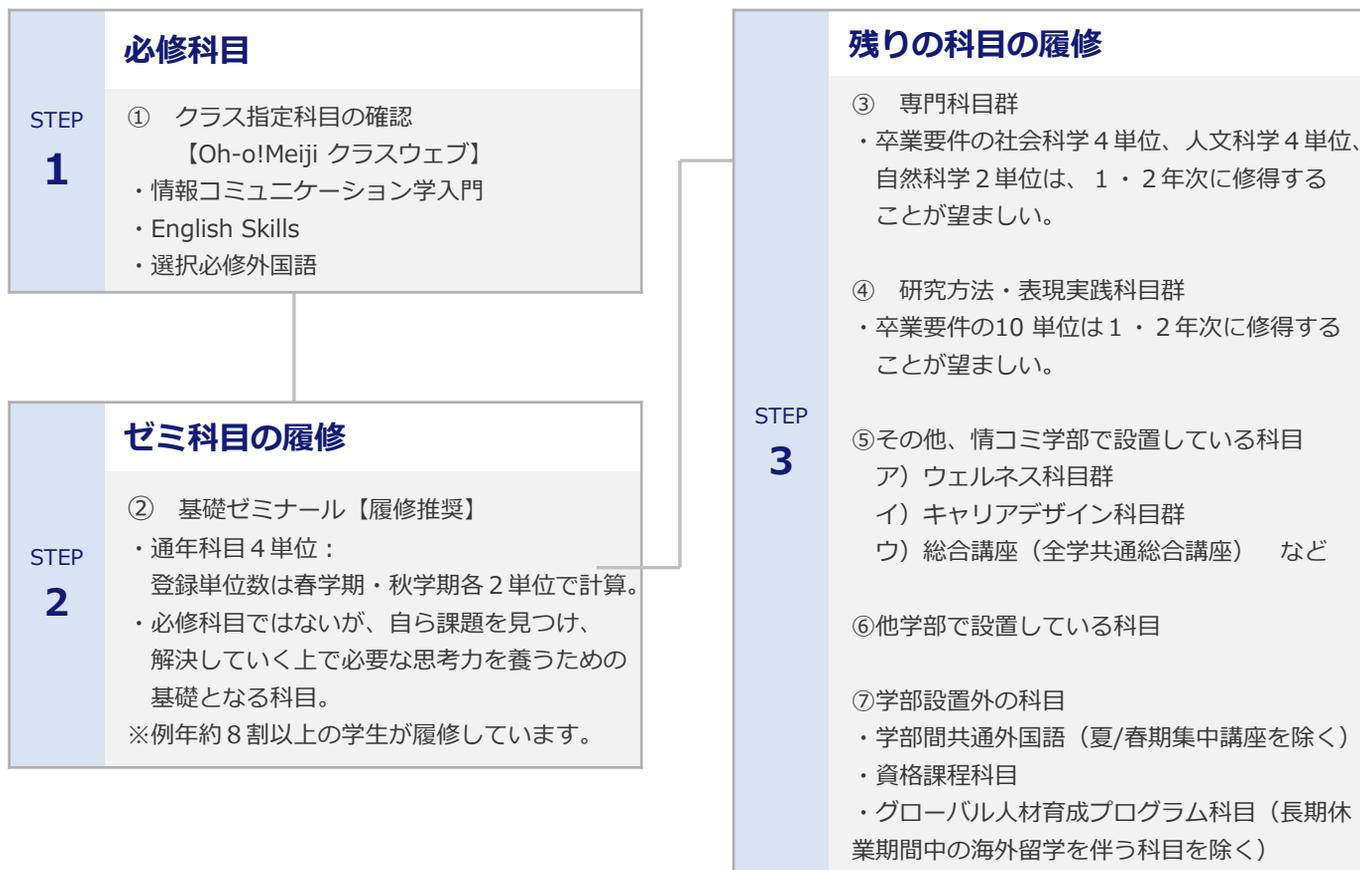
※2年次に提出するマイカリキュラムは、問題分析ゼミナール入室試験の際担当教員が確認します。

1 年次履修計画（時間割作成）について（参考）

登録単位数年間 48 単位 / 春学期 24 単位・秋学期 24 単位



P.27 卒業に必要な単位数（卒業要件）を確認すること
→卒業までに必要な単位数を4年間で満たすよう想定し、
今年度の履修計画を立てる。



**48単位（半期24単位）
1年間の時間割完成**

（更に興味があれば）

⑧ 履修上限単位数に含まれない科目

- ・ 国際交流（短期留学を含む科目）
- ・ 学部間共通外国語科目（夏/春期集中講座）

など

和泉キャンパス開講 受講者制限科目一覧

★受講者制限科目とは

グループワーク等のアクティブラーニングを重視するために、受講人数を制限し比較的少人数で開講する科目を指します。

このため、定員を超える受講希望者がいた場合には、抽選により受講者を決定します。申込受付方法は一覧表の下部に記載していますのでご確認ください。

履修開始年次	科目名		開講学期	クラス数		クラス定員	申込方法	備考	
				春	秋				
1	基礎ゼミナール		P.22を参照						
1	メディア・リテラシー	担当者：佐幸信介	秋	0	1	240			
1	メディア批評		春	1	0	100			
1	小集団コミュニケーション	担当者：鈴木有香	春/秋	1	1	30			
1	小集団コミュニケーション	担当者：叶 尤奇	春/秋	1	1	80			
1	新興国事情		春/秋	1	1	48			
1	Speech & Debate A・B (Speech & Debate I・II)		A 春 B 秋	6	6	20		1年生優先	
1	ネットワーク技術 I		春/秋	2	1	48			
1	ネットワーク技術 II・III	(II・IIIセット)	II 春 III 秋	1	1	24		2年生以上履修可	
1	プログラミング実習 I・II	(I・IIセット) 担当者：山崎浩二	I 春 II 秋	1	1	40			
1	プログラミング実習 I・II	(I・IIセット) 担当者：野口喜洋	I 春 II 秋	2	2	46			
1	専門情報リテラシー	社会統計	春/秋	1	1	48	WEB履修登録期間 (抽選 I)		
		心理統計	春/秋	1	1	48			
		法情報	春/秋	1	1	48			
		実験人間学	春/秋	2	2	24			
		インタラクティブCG	春/秋	1	1	40			
1	日本語表現 I・II	(I・IIセット)	I 春 II 秋	13	13	20			
1	演劇学		春/秋	2	2	44			
1	クリエイティブ・コミュニケーション	認知心理学	春/秋	1	1	53		【注意事項】 ・WEB履修登録（抽選 I）の期間に申込できるのは、通年で1コマのみ。多く申し込んだ場合、クリエイティブ・コミュニケーションの申込が全て削除されるため注意すること。 ・抽選 I の登録で定員に満たなかったクラスについては、WEB履修登録（抽選 II）以降の期間に追加登録を受け付ける。（ ）内のテーマが異なる科目であれば複数履修可能。	
		ジャーナリズム	春/秋	1	1	36			
		パフォーマンス・アーツ	秋	0	1	50			
		社会学	春/秋	2	2	40			
		行動経済学	春/秋	1	1	40			
		マーケティング戦略	春/秋	1	1	60			
		フランスと音楽	秋	0	1	40			
		ドイツの映画と音楽	春	1	0	36			
		スペインとスペイン語圏、日本	春	1	0	36			
		中国と漢字	秋	0	1	36			
		韓国とKカルチャー	秋	0	1	48			
		タイと歴史	秋	0	1	36			
1	ウェルネスA		春/秋	1	1	30			
1	ICT科目		情報関係科目シラバス参照				WEB履修登録	受付日程詳細は情報関係科目シラバスを参照	

履修開始年次	科目名	開講学期	クラス数		クラス定員	申込方法	備考	
			春	秋				
2	問題発見テーマ演習A・B	A 春秋 B	P.23を参照			WEB履修登録期間 (抽選I)	【注意事項】 ・WEB履修登録（抽選I）の期間に申込できるのは、A・B各1コマのみ。多く申し込んだ場合、問題発見テーマ演習A・Bの申込が全て削除されるため注意すること。 ・抽選Iの登録で定員に満たなかったクラスについては、WEB履修登録（抽選II）以降の期間に追加登録を受け付ける。A・Bとも各2コマまで履修可能。	
2	Critical Writing A・B (Critical Writing I・II)	A 春秋 B	2	2	20			
2	ドイツ語演習I・II	(I・IIセット)	I 春秋 II	1	1			30
2	フランス語演習I・II		I 春秋 II	1	1			30
2	スペイン語演習I・II		I 春秋 II	1	1			30
2	中国語演習I・II		I 春秋 II	1	1			30
2	韓国語演習I・II		I 春秋 II	1	1			30
2	タイ語演習I・II		I 春秋 II	1	1			30
2	身体コミュニケーションA		春	1	0			30
2	身体コミュニケーションB	春/秋	1	1	30			
2	ウェルネス・スポーツA・B	ニュースポーツ 担当者：竹崎一真	A 春秋 B	0	1	20	詳細は以下を参照 ・2021年度以降 入学者：P.36 ・2017～2020年度 入学者：P.56	
		レクリエーションスポーツ 担当者：西谷善子		2	0	20		
		クライミング 担当者：西谷善子		0	1	24		
		ヨガ・護身術 担当者：ソリドーワル・マーヤ		1	0	25		
		日本舞踊 担当者：森田ゆい		0	1	25		
		スノーボード 担当者：竹崎一真		秋集中	0	1		30
		他学部設置科目	選択体育実技	パンフレット参照				

【申込受付方法】

受講者制限科目は、WEB登録により抽選I（または抽選II）で履修登録する。
 抽選は履修定員を超えた場合に行い、定員内であれば自動的に登録される。
 これらの科目は、履修確定後は削除できないため、慎重に登録すること。



基礎ゼミナール 定員・重視項目一覧（1年生向け）

担当者名		募集定員	文章読解	文章表現	ディスカッション	プレゼンテーション	論理的思考	文献資料収集	基礎的社会調査	外国語	情報機器の活用	課外活動 (ゼミ合宿など)
1	今村 哲也	20			○	○						
2	岩渕 輝	20	○		○	○	○					
3	牛尾 奈緒美	20	○		○	○	○	○				
4	江下 雅之	20		○			○	○			○	
5	小田 光康	20			○	○	○	○			○	
6	上西 智子	20	○	○	○	○	○	○			○	
7	川島 高峰	20		○	○	○	○	○			○	○
8	熊田 聖	20		○	○	○	○					
9	後藤 晶	20	○		○	○	○					
10	齋藤 航	20	○	○	○	○	○					
11	坂本 祐太	20	○	○	○	○						
12	施 利平	20	○	○	○	○						
13	清水 晶紀	20	○	○	○	○	○	○				
14	鈴木 雅博	20	○	○	○	○	○	○	○			
15	大黒 岳彦	20		○	○	○	○					
16	竹中 克久	20	○		○	○	○	○				
17	田中 洋美	20	○	○	○	○	○					
18	田村 理	20	○	○	○			○				
19	塚原 康博	20	○		○	○	○	○				
20	内藤 まりこ	20	○	○		○	○	○				
21	中里 裕美	20	○			○	○	○				
22	中川 雄大	20	○	○	○	○	○	○				
23	日置 貴之	20			○	○	○	○				
24	堀口 悦子	20	○	○	○							○
25	宮本 真也	20	○		○	○	○					
26	山内 勇	20			○	○	○				○	
27	山口 生史	20			○	○			○			
28	山口 達男	20	○	○	○		○					
29	山口 達男	20	○	○	○		○					
30	横田 貴之	20	○		○	○	○					
31	脇本 竜太郎	20	○			○	○				○	
32	和田 悟	20	○		○	○	○				○	

問題発見テーマ演習A・B 定員・募集パターン一覧（2年生向け）

	担当者名	授業形式	問題発見A 定員	問題発見B 定員	備考
1	今村 哲也	演習／ゼミ	20	20	
2	岩渕 輝	演習	20	20	
3	牛尾 奈緒美	演習／ゼミ	20	20	
4	小田 光康	ゼミ	20	20	合宿形式の週末の集中講義です
5	上西 智子	A:演習 B:ゼミ	—	20	
6	川島 高峰	演習／ゼミ	20	20	
7	清原 聖子	演習／ゼミ	20	20	
8	熊田 聖	ゼミ	20	20	
9	後藤 晶	演習	20	20	
10	小林 秀行	演習／ゼミ	20	20	
11	坂本 祐太	演習／ゼミ	20	—	
12	施 利平	演習／ゼミ	20	20	
13	島田 剛	演習／ゼミ	20	20	
14	清水 晶紀	ゼミ	20	—	
15	鈴木 健	ゼミ	20	—	
16	鈴木 健人	演習	20	20	
17	鈴木 雅博	演習	20	20	
18	関口 裕昭	演習／ゼミ	20	—	
19	高橋 華生子	演習／ゼミ	—	20	
20	竹崎 一真	演習／ゼミ	—	20	
21	竹中 克久	ゼミ	20	20	
22	田中 洋美	ゼミ／演習	20	20	
23	田村 理	ゼミ／演習	20	20	
24	内藤 まりこ	演習	20	—	
25	中里 裕美	ゼミ	20	20	
26	日置 貴之	演習	20	20	
27	蛭川 立	演習	20	20	
28	堀口 悦子	演習／ゼミ	20	20	
29	宮本 真也	演習	20	20	
30	山口 生史	演習	20	20	
31	脇本 竜太郎	演習／ゼミ	20	20	
32	和田 悟	演習	20	20	

※授業形式は「演習」もしくは「ゼミ（ゼミナール）」形式に大別されます。両方記載されている授業については両方の形式で行われます。

【演習】講読や問題演習などの個人的取組が中心になるもの

【ゼミ】グループワークが中心になるもの

駿河台キャンパス開講 受講者制限科目一覧

【受講者制限科目とは】

グループワーク等のアクティブラーニングを重視するために、受講人数を制限して少人数で開講する科目。
このため、定員を超える受講希望者がいた場合には、抽選で受講者を決定します。

【申込受付方法】

受講者制限科目は、WEB履修登録またはOh-o!Meijiにより抽選Ⅰ（または抽選Ⅱ）で履修登録してください。
抽選は履修定員を超えた場合に行い、定員内であれば自動的に登録されます。
これらの科目は、**履修確定後は削除できない**ため、慎重に登録してください。

履修開始年次	科目名	担当者名	開講学期	クラス数	定員	申込方法	
1	English Skills AI・II English Skills BI・II	ガードナー、ステファン モレル	春学期	1	合計 36	※対象者に Oh-o!Meijiにて案内	
2	Critical Reading Critical Discussion	ガードナー、ステファン モレル	秋学期	1	合計 36		
3	英語音声学	ドウ、 ティモシー J.	春学期	1	36	WEB履修登録期間 (抽選Ⅰ)	
3	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ (金曜4限開講)	アイルランド ガリー	I (春学期) II (秋学期)	各1	各36		
3	アルゴリズム実習Ⅰ・Ⅱ	山崎 浩二	I (春学期) II (秋学期)	各1	各30		
3	デジタルアートA・B (Ⅰ・Ⅱ)	宮川 渉	A (春学期) B (秋学期)	各1	各30		
	デジタルアートA・B (Ⅰ・Ⅱ) 【M】	佐野 典秀	A (春学期) B (秋学期)	各1	各72		
3	デジタルプレゼンテーション	久保田 達之助	春学期 秋学期	各1	各60		
3	非言語コミュニケーション	小山 慎治	春学期	1	50		
3	メディア教育論	小田 光康	春学期	1	40		
		李 知映	春学期	1	40		
		内藤 まりこ	秋学期	1	30		
3	データ解析論Ⅰ・Ⅱ	後藤 晶	I (春前期) II (春後期)	各1	各50		
3	身体表現論	小林 敦子	秋学期	1	30		
3	情報デザイン論	栗山 健	春学期	1	36		
3	情報システム論	野口 喜洋	秋学期	1	36		
3	言語表現論	伊藤 豊	春学期	1	30		
3	造形表現論	木村 博之	秋学期	1	40		
3	社会調査実習	大島 岳	通年	1	12		
		小山 慎治		1			
		田中 慶子		1			
3	ウェルネス・スポーツC・D	奈良岡 佑南	C (春学期) D (秋学期)	各1	各20	春学期第1回授業出席	
3	映像表現論	(映像制作)	山内 勇 (コーディネーター)	春学期	1	30	事前申込 ※申込方法は別途 Oh-o!Meijiにて案内
		(編集スキル)		秋学期	1	25	
3	実践キャリア支援講座	坂本 祐太 (コーディネーター)	秋前期	1	50		

※「デジタルアートA・B(Ⅰ・Ⅱ)」について、2020年度以前入学者は、同一教員の授業を履修すること。

カリキュラム別の科目読み替え表

入学した年度によって一部科目名称、もしくは、履修開始年次が異なっている。
時間割やシラバス、お知らせを見る際は、下記の一覧表を参考にすること。

2019年度以降入学者カリキュラム		2018年度以前入学者カリキュラム	
科目名	履修開始年次	科目名	履修開始年次
英語文学A	1	2018年度以前入学者も「英米文学」として、いずれか一方の科目についてのみ履修可能。	1
英語文学B	1		

2021年度以降入学者カリキュラム		2017年度から2020年度入学者カリキュラム		2013年度から2016年度入学者カリキュラム			
科目名	履修開始年次	科目名	履修開始年次	科目名	履修開始年次		
学部事務室で指定された科目を履修登録すること。				(選択必修外国語名) III (会話)	2		
				(選択必修外国語名) IV (会話)	2		
				(選択必修外国語名) III (講読)	2		
				(選択必修外国語名) IV (講読)	2		
(選択必修外国語名) 演習 I・II	2	2020年度以前入学者も卒業要件の「自由に選択できる科目」として履修可能。 外国語科目群の単位としてはカウントされないので注意すること。					
Speech & Debate A・B	1	Speech & Debate I・II	1	2017年度から2020年度入学者カリキュラムと同じ			
Critical Writing A・B	2	Critical Writing I・II	2				
憲法A	1	憲法	1				
日本史概論	1	日本史概論A	1				
歴史学	1	日本史概論B	1				
現代行政と法A・B	3	行政法と行政過程 I・II	3				
現代アメリカ政治論	3	政策過程論	3				
個人と国家	3	人権と憲法 I	3				
ジェンダーと法A・B	3	ジェンダーと法 I・II	3				
情報政策論A・B	3	情報政策論 I・II	3				
人権と政策	3	人権政策	3				
知的財産法A・B	3	知的財産法 I・II	3				
犯罪社会学	3	少年犯罪と法	3				
ファイナンス論A・B	3	金融システム論 I・II	3				
意思決定論A・B	3	意思決定論 I・II	3				
地域文化論 (フランス)	3	地域文化論A (フランス)	3				
地域文化論 (ドイツ)	3	地域文化論A (ドイツ)	3				
地域文化論 (中国)	3	地域文化論C (中国)	3				
地域文化論 (朝鮮)	3	地域文化論C (朝鮮)	3				
地域文化論 (スペイン)	3	地域文化論D (スペイン)	3				
地域文化論 (イスラーム)	3	地域文化論D (イスラーム)	3				
家族社会学	3	家族社会学 I	3				
自然言語の生成モデル	3	談話コミュニケーション I	3				
言語使用とディスコース	3	談話コミュニケーション II	3				
デジタルアートA・B	3	デジタルアート I・II	3				
国際開発論	3	国際開発協力論	3			国際協調論	3
国際経済論A・B	3	国際経済論 I・II	3			経済発展論 I・II	3
社会文化史	3	社会文化史A	3			社会文化史 I	3
2017年度から2020年度入学者カリキュラムと同じ		クリエイティブ・コミュニケーション	1			コミュニケーション基礎	1
		ジェンダーと社会 I	3			ジェンダー文化史	3
		ジェンダーと社会 II	3	国際社会とジェンダー	3		
		社会心理学A・B	1	社会心理学 I・II	1		
		情報コミュニケーション学入門A	1	情報コミュニケーション学入門A・B・C・D	1		
		情報コミュニケーション学入門B	1	情報コミュニケーション学入門A・B・C・D	1		
		情報社会論A・B	3	情報社会論 I・II	3		
		新興国事情	1	専門情報リテラシー (新興国事情)	1		
		地球環境科学	1	環境科学	1		
		多文化と相互理解 I・II	3	多文化と相互理解A・B	3		

2021年度以降入学者カリキュラム		2017年度から2020年度入学者カリキュラム		2013年度から2016年度入学者カリキュラム	
科目名	履修開始年次	科目名	履修開始年次	科目名	履修開始年次
2017年度から2020年度入学者カリキュラムと同じ		日本語表現Ⅰ	1	日本語表現A（作文）	1
		日本語表現Ⅱ	1	日本語表現B（文章理解）	1
		パーソナリティ心理学	3	環境心理学	3
		メディア教育論	3	メディア言語論	3
		異文化理解	1	異文化理解・適応	1
		消費行動の心理学	3	情報行動の心理学	3
		情報法A	3	情報法	3
		人口論	3	人口学Ⅰ	3
		生命論A・B	1	生命論Ⅰ・Ⅱ	1
		西洋史概論	1	西洋史	1
		東洋史概論	1	東洋史	1
		認知科学Ⅰ	3	認知科学	3
		認知科学Ⅱ	3	2016年度以前入学者も卒業要件の「自由に選択できる科目」として履修可能。コースなどの特定の科目群の単位としてはカウントされないので注意すること。	
		情報法B	3		
		言語態研究	3		
	言語表現論	3			
	スポーツ・ジャーナリズム論	3			
イノベーションの経済学	3	法と社会科学Ⅰ	3		
憲法B	1	2020年度以前入学者も卒業要件の「自由に選択できる科目」として履修可能。専門科目群などの特定の科目群の単位としてはカウントされないので注意すること。			
家族社会学概論	1				
地域文化論（基礎）	1				
超域文化論	3				
先取り履修科目（3・4年次配当科目）A・B	2	2020年度以前入学者は履修不可。			
卒業論文・卒業制作	4				

2021年度以降入学者カリキュラム		2017年度から2020年度入学者カリキュラム		備考
科目名 【科目区分】	履修開始年次	科目名 【科目区分】	履修開始年次	
経済思想史 【社会システム】	3	経済思想史【文化と表象】	3	※科目区分の変更
異文化コミュニケーション史【文化と表象】	3	異文化コミュニケーション史【人文学】	1	※科目区分、履修開始年次の変更

先取り履修科目（3・4年次配当科目）一覧

＜対象：2021年度以降入学の2年生＞

履修年次	科目名	3・4年次配当科目名	申込方法
2	先取り履修科目 (3・4年次配当科目)	イノベーションの経済学	履修登録期間 (抽選Ⅰのみ)
		現代アメリカ政治論 [M]	
		現代行政と法A	
		現代行政と法B	
		ジェンダーと法A	
		ジェンダーと法B	
		人権と政策	
		知的財産法A [M]	
		知的財産法B [M]	
		犯罪社会学	
		メディア論	
		音楽表現論	
		記号論	
		言語態研究	
		スポーツ・ジャーナリズム論	
		超域文化論	
		日本文化論A	
		日本文化論B	
		意思決定論A	
		意思決定論B	
		家族社会学	
		自然言語の生成モデル	
		言語使用とディスコース	
		消費行動の心理学	
		身体と意識	
		組織コミュニケーションA	
	組織コミュニケーションB		
	不思議現象の心理学		
	リスク社会論		

【注意事項】

- (1) 今年度の開講科目は駿河台キャンパスの時間割表で確認すること。
- (1) 通年で2科目まで履修可能。ルールどおり、2科目までの申込であれば、自動的に登録される。
履修確定後は削除できないため、慎重に登録すること。
なお、3科目以上申し込んだ場合、全ての科目が削除されるので、注意すること。
- (2) 先取り履修科目を履修登録すると、その前後の和泉開講科目は登録できない。（2・3時限の連続は可
地区間エラーが発生するため注意すること。
- (3) 修得した科目名は、「先取り履修科目（3・4年次配当科目）」となり、成績証明書にもそのように
表記される。成績証明書に本来の科目名の記載を希望する場合は、2年次に先取り履修せず、
必ず3・4年次に履修すること。
- (4) 修得した単位数は、専門科目群の各科目区分に算入される。



I 2021年度以降入学者カリキュラム

- ・ 設置科目一覧表
- ・ 卒業・進級・卒業見込に必要な単位
- ・ 科目別注意事項
- ・ カリキュラムマップ

2025年度以降入学者 設置科目一覧表

	各分野最低 必要単位	1年次		2年次		3年次		4年次				
		科目名		科目名		科目名		科目名				
ゼミナール科目群	-	基礎ゼミナール		問題発見テーマ演習A・B		問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ		問題解決ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文・卒業制作				
学際科目群	入門 4単位	情報コミュニケーション学入門A・B				情報コミュニケーション学						
専門科目群	社会科学から 4単位 人文科学から 4単位 自然科学から 4単位 これらを含め 専門科目から 64単位	社会科学	家族社会学概論 コミュニティ論 社会心理学A・B 組織論 ミクロ経済学	環境と社会 ジェンダー論 情報社会と経済 犯罪と法Ⅰ・Ⅱ メディア・リテラシー	経営学 市民社会と法Ⅰ・Ⅱ 情報倫理 法学	憲法A・B 社会学A・B 政治学 マクロ経済学						
		人文科学	異文化理解 宗教学 生命論A・B 地理学 日本文学 歴史学	英語文学A・B 小集団コミュニケーション 西洋史概論 哲学 パブリック・スピーキング	外国文学 新興国事情 地域文化論(基礎) 東洋史概論 比較文化(基礎)A・B	言語学 心理学A・B 地誌学 日本史概論 メディア批評						
		自然科学	科学技術史 人類学A・B	環境生物学 地球環境科学	情報科学 脳科学	情報検索論						
		社会システム					イノベーションの経済学 現代型犯罪と刑法Ⅰ・Ⅱ 国際経済論A・B 社会福祉学A・B 人権と政策 ビジネスと法A・B	NPO論 現代政治学Ⅰ・Ⅱ 個人と国家 情報産業論 政治とメディア ファイナンス論A・B	家族と法Ⅰ・Ⅱ 公共政策A・B 財産と法Ⅰ・Ⅱ 情報システム論 ソーシャルビジネス論 紛争解決システム論Ⅰ・Ⅱ	経済思想史 コーポレート・ガバナンスⅠ・Ⅱ ジェンダーと法A・B 情報社会論A・B 組織と情報 マスコミュニケーション論A・B	現代アメリカ政治論 国際開発論 ジェンダー・マネジメントⅠ・Ⅱ 情報政策論A・B 知的財産法A・B メディアの歴史	現代行政と法A・B 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 社会思想史 情報法A・B 犯罪社会学 メディア論
		文化と表象			先取り履修科目(3・4年次配当科目)		アート・マネジメント 近・現代史Ⅰ・Ⅱ 社会文化史 スポーツ・ジャーナリズム論 地域文化論(スペイン) 比較文学・比較文化AⅠ・AⅡ	異文化コミュニケーション史 言語態研究 情報社会と教育A・B 造形表現論 地域文化論(中国) 比較文学・比較文化BⅠ・BⅡ	英語の文化と歴史 言語表現論 情報社会と芸術 多文化と相互理解Ⅰ・Ⅱ 地域文化論(朝鮮) ユニバーサルデザイン	映像表現論 広告論 情報社会と出版 地域文化論(英語圏)A・B 地域文化論(イスラーム) 倫理学	音楽表現論 ジェンダーと社会Ⅰ・Ⅱ 情報デザイン論 地域文化論(ドイツ) 超域文化論	記号論 ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ 情報文化論 地域文化論(フランス) 日本文化論A・B
人間と環境					意思決定論A・B コミュニケーション思想史 情報と職業 組織コミュニケーションA・B 不確実性下の人間行動	異文化間コミュニケーション 自然言語の生成モデル 人口論 都市情報論 不思議現象の心理学	科学技術と人間 自然地理学 身体と意識 人間性心理学 法コミュニケーション	家族社会学 消費行動の心理学 身体表現論 認知科学Ⅰ・Ⅱ ネットワーク社会論	環境政策Ⅰ・Ⅱ 情報社会と安全A・B 人文地理学 ネットワー社会論	言語使用とディスコース 情報と経済行動 生命思想史Ⅰ・Ⅱ パーソナリティ心理学		
外国語科目群	6	English Skills AⅠ・Ⅱ(基礎 中級 上級) English Skills BⅠ・Ⅱ(基礎 中級 上級) Speech & Debate A・B		Critical Reading Critical Discussion Critical Writing A・B		English SeminarⅠ・Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 英語音声学						
		4※	ドイツ語AⅠ・Ⅱ フランス語AⅠ・Ⅱ スペイン語AⅠ・Ⅱ 中国語AⅠ・Ⅱ 韓国語AⅠ・Ⅱ タイ語AⅠ・Ⅱ	ドイツ語BⅠ・Ⅱ フランス語BⅠ・Ⅱ スペイン語BⅠ・Ⅱ 中国語BⅠ・Ⅱ 韓国語BⅠ・Ⅱ タイ語BⅠ・Ⅱ	ドイツ語演習Ⅰ・Ⅱ フランス語演習Ⅰ・Ⅱ スペイン語演習Ⅰ・Ⅱ 中国語演習Ⅰ・Ⅱ 韓国語演習Ⅰ・Ⅱ タイ語演習Ⅰ・Ⅱ							
	日本語AⅠ・Ⅱ 日本語BⅠ・Ⅱ		日本語AⅢ・Ⅳ 日本語BⅢ・Ⅳ									
	研究・表現実践科目群	10	(情報リテラシー科目) ICTプログラミング入門・応用 CTeラーニングデザイン入門・応用 ICT統計解析入門・応用 ICT画像編集入門・応用 ICT動画編集入門・応用 ICT音楽編集入門・応用 ICTWebページ作成 ネットワーク技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ 専門情報リテラシー	ICTプレゼンテーション ICTデータベース入門・応用	アルゴリズム実習Ⅰ・Ⅱ ネットワーク技術Ⅳ							
		(日本語表現科目) 日本語表現Ⅰ・Ⅱ										
		(クリエイション科目) 演劇学 音楽論 クリエイティブ・コミュニケーション 美学・芸術学	身体コミュニケーションA・B	メディア・アート	デジタルアートA・B	デジタルプレゼンテーション	非言語コミュニケーション					
		(リサーチリテラシー科目) 科学リテラシー 数理リテラシー 統計学A・B 論理リテラシー		社会調査法A・B	社会調査実習	質的調査分析法	データ解析論Ⅰ・Ⅱ					
海外留学科目群	-	国際交流		留学関係科目(語学・実習)A		留学関係科目(語学・実習)B		留学関係科目(講義)A 留学関係科目(講義)B				
その他	ウェルネス科目群	-	ウェルネスA・B		ウェルネス・スポーツA・B		ウェルネス・スポーツC・D					
	キャリアデザイン科目群	-	キャリアデザイン		インターンシップ入門		実践キャリア支援講座					
	情報リテラシー科目群	-	ICTベーシック									
	総合講座	-	総合講座A～D									
総単位	124	※ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語の中から1か国語(ただし、外国人留学生については日本語)を選択										

2021年度以降入学者 設置科目一覧表

	各分野最低 必要単位	1年次		2年次		3年次		4年次											
		科目名		科目名		科目名		科目名											
ゼミナール科目群	-	基礎ゼミナール		問題発見テーマ演習A・B		問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ		問題解決ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文・卒業制作											
学際科目群	入門 4単位	情報コミュニケーション学入門A・B				情報コミュニケーション学													
専門 科目群	社会科学から 4単位 人文科学から 4単位 自然科学から 2単位 これらを含め 専門科目から 64単位	社会科学		環境と社会 ジェンダー論		経営学 市民社会と法Ⅰ・Ⅱ 情報倫理		憲法A・B 社会学A・B 政治学											
		人文科学		異文化理解 宗教学 生命論A・B 地理学 日本文学 歴史学		英語文学A・B 小集団コミュニケーション 西洋史概論 哲学 パブリック・スピーキング		外国文学 新興国事情 地域文化論(基礎) 東洋史概論 比較文化(基礎)A・B		言語学 心理学A・B 地誌学 日本史概論 メディア批評									
		自然科学		科学技術史 人類学A・B		環境生物学 地球環境科学		情報科学 脳科学		情報検索論									
		社会システム						イノベーションの経済学 現代型犯罪と刑法Ⅰ・Ⅱ 国際経済論A・B 社会福祉学A・B 人権と政策 ビジネスと法A・B		NPO論 現代政治学Ⅰ・Ⅱ 個人と国家 情報産業論 政治とメディア ファイナンス論A・B		家族と法Ⅰ・Ⅱ 公共政策A・B 財産と法Ⅰ・Ⅱ 情報システム論 ソーシャルビジネス論 紛争解決システム論Ⅰ・Ⅱ		経済思想史 コーポレート・ガバナンスⅠ・Ⅱ ジェンダーと法A・B 情報社会論A・B 組織と情報 マスコミュニケーション論A・B		現代アメリカ政治論 国際開発論 ジェンダー・マネジメントⅠ・Ⅱ 情報政策論A・B 知的財産法A・B メディアの歴史		現代行政と法A・B 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 社会思想史 情報法A・B 犯罪社会学 メディア論	
		文化と表象				先取り履修科目(3・4年次配当科目)		アート・マネジメント 近・現代史Ⅰ・Ⅱ スポーツ・ジャーナリズム論 地域文化論(スペイン) 比較文学・比較文化AⅠ・AⅡ		異文化コミュニケーション史 言語態研究 情報社会と教育A・B 造形表現論 地域文化論(中国) 比較文学・比較文化BⅠ・BⅡ		英語の文化と歴史 言語表現論 情報社会と芸術 多文化と相互理解Ⅰ・Ⅱ 地域文化論(朝鮮) ユニバーサルデザイン		映像表現論 広告論 情報社会と出版 地域文化論(英語圏)A・B 地域文化論(イスラーム) 倫理学		音楽表現論 ジェンダーと社会Ⅰ・Ⅱ 情報デザイン論 地域文化論(ドイツ) 超域文化論		記号論 ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ 情報文化論 地域文化論(フランス) 日本文化論A・B	
人間と環境						意思決定論A・B コミュニケーション思想史 情報と職業 組織コミュニケーションA・B 不確実性下の人間行動		異文化間コミュニケーション 自然言語の生成モデル 人口論 都市情報論 不思議現象の心理学		科学技術と人間 自然地理学 身体と意識 人間性心理学 法コミュニケーション		家族社会学 消費行動の心理学 身体表現論 認知科学Ⅰ・Ⅱ ネットワーク社会論		環境政策Ⅰ・Ⅱ 情報社会と安全A・B 人文地理学 ネットワーク社会論		言語使用とディスコース 情報と経済行動 生命思想史Ⅰ・Ⅱ パーソナリティ心理学			
外国語科目群	6	English Skills AⅠ・Ⅱ(基礎 中級 上級) English Skills BⅠ・Ⅱ(基礎 中級 上級) Speech & Debate A・B		Critical Reading Critical Discussion Critical Writing A・B		English SeminarⅠ・Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 英語音声学													
		4※	ドイツ語AⅠ・Ⅱ フランス語AⅠ・Ⅱ スペイン語AⅠ・Ⅱ 中国語AⅠ・Ⅱ 韓国語AⅠ・Ⅱ タイ語AⅠ・Ⅱ		ドイツ語BⅠ・Ⅱ フランス語BⅠ・Ⅱ スペイン語BⅠ・Ⅱ 中国語BⅠ・Ⅱ 韓国語BⅠ・Ⅱ タイ語BⅠ・Ⅱ		ドイツ語演習Ⅰ・Ⅱ フランス語演習Ⅰ・Ⅱ スペイン語演習Ⅰ・Ⅱ 中国語演習Ⅰ・Ⅱ 韓国語演習Ⅰ・Ⅱ タイ語演習Ⅰ・Ⅱ												
	日本語AⅠ・Ⅱ 日本語BⅠ・Ⅱ		日本語AⅢ・Ⅳ 日本語BⅢ・Ⅳ																
	研究手法・表現実践科目群		10	(情報リテラシー科目) ICTアプリ開発Ⅰ・Ⅱ ICT統計解析Ⅰ・Ⅱ 専門情報リテラシー		ICTコンテンツデザインⅠ・Ⅱ ICTメディア編集Ⅰ・Ⅱ		ICT総合実践Ⅰ・Ⅱ ネットワーク技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		ICTデータベースⅠ・Ⅱ プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ		アルゴリズム実習Ⅰ・Ⅱ ネットワーク技術Ⅳ							
		(日本語表現科目) 日本語表現Ⅰ・Ⅱ																	
		(クリエイション科目) 演劇学 音楽論 クリエティブ・コミュニケーション 美学・芸術学		身体コミュニケーションA・B メディア・アート		デジタルアートA・B メディア教育論		デジタルプレゼンテーション 非言語コミュニケーション											
		(リサーチリテラシー科目) 科学リテラシー 統計学A・B		数理リテラシー 論理リテラシー		社会調査法A・B		社会調査実習 質的調査分析法		データ解析論Ⅰ・Ⅱ									
海外留学科目群	-	国際交流		留学関係科目(語学・実習)A		留学関係科目(語学・実習)B		留学関係科目(講義)A		留学関係科目(講義)B									
その他	ウェルネス科目群	-	ウェルネスA・B		ウェルネス・スポーツA・B		ウェルネス・スポーツC・D												
	キャリアデザイン科目群	-	キャリアデザイン		インターンシップ入門		実践キャリア支援講座 ※2023年度以前「インターンシップ」												
	情報リテラシー科目群	-	ICTベーシックⅠ・Ⅱ																
	国際教育プログラム科目	-	国際教育プログラム科目(異文化理解)Ⅰ・Ⅱ		国際教育プログラム科目(文化・歴史)Ⅰ・Ⅱ		国際教育プログラム科目(法律・政治)Ⅰ・Ⅱ		国際教育プログラム科目(経済)Ⅰ・Ⅱ		※2023年度より廃止								
総合講座	-					総合講座A～D													
総単位	124	※ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語の中から1か国語(ただし、外国人留学生については日本語)を選択																	

卒業・進級・卒業見込に必要な単位（2021年度以降入学者用）

情報コミュニケーション学部では、原則として4か年以上在学し、下表に示された単位を修得した者に、学士（情報コミュニケーション学）の学位が授与される。

科目区分		最低修得 単位数		内訳（要件等）
学際科目群		4 (必修)		情報コミュニケーション学入門を2科目4単位修得しなければならない。
専門科目群	社会科学	4	54	社会科学から4単位、人文科学から4単位、自然科学から2単位を含め、64単位以上を修得しなければならない。
	人文科学	4		
	自然科学	2		
	社会システム			
	文化と表象			
	人間と環境			
外国語科目群		10		英語（English Seminar I・II、英語コミュニケーションI・II及び英語音声学は含めない。）を6単位以上、ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語（各語学の演習I・IIは含めない。）の中から1か国語（ただし、外国人留学生については日本語）を選択し、4単位以上を修得しなければならない。
研究方法・表現実践科目群		10		10単位以上を修得しなければならない。
自由に選択できる科目		36		次から単位修得すること。 ※ 学部設置科目において最低修得単位数を超えた単位数は自動的に「自由に選択できる科目」の修得単位数となる。 ※ 学部設置科目外の卒業単位認定科目（下記参照）について40単位まで認められる。 1 学部間共通外国語科目 2 他学部履修科目 3 留学生共通日本語科目 4 グローバル人材育成プログラム科目 （4について認められるのは16単位まで） ※ 編入などの場合には40単位を超えて認定する場合がある。 ※ 資格課程開講科目は卒業単位認定科目に含めることができない。
合計		124 (必修 4)		

【進級条件】（2年次終了時に、次の条件を満たしていないと3年次に進級することができない。）

2年次終了までに卒業要件内単位のうち40単位以上修得すること。

【卒業見込】

4年次に在籍し、3年次終了時に卒業要件内単位のうち76単位以上修得している者は、卒業見込み者として認定する（希望により、卒業見込証明書を発行する）。

【卒業のための付加条件】

4年次においては、8単位以上修得しなければならない。

【メディア授業科目の算入】

メディア授業科目を履修し修得した単位は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち60単位を超えないものとする。毎年度の授業計画により、授業の実施方法を変更することがあるため、メディア授業科目の対象科目及び履修上の注意事項は必ず各年度の各シラバスを参照すること。

科目別注意事項

ゼミナール科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
		<ul style="list-style-type: none"> 各ゼミ担当教員の授業内容を十分に理解すること。 履修手続き・注意事項等や履修スケジュールをよく確認し間違いのないように申し込むこと。 履修が決定したゼミナール科目は履修変更できない。
1	基礎ゼミナール	<ul style="list-style-type: none"> 基礎ゼミナールは通年4単位で行う。 履修登録時の単位数は春・秋学期にそれぞれ2単位ずつで計算すること。 成績評価は秋学期終了後となる。 履修登録方法は1年生履修ガイダンス動画を確認すること。
2	問題発見テーマ演習A 問題発見テーマ演習B	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見テーマ演習は半期開講科目とする。 WEB履修登録（抽選Ⅰ）の期間に申込できるのは、A・B各1コマのみ。多く申し込んだ場合、問題発見テーマ演習A・Bの申込が全て削除されるため注意すること。 抽選Ⅰの登録で定員に満たなかったクラスについては、WEB履修登録（抽選Ⅱ）以降の期間に追加登録を受け付ける。A・Bとも各2コマまで履修可能。 履修登録方法は2年生履修ガイダンス資料を確認すること。
3 4	問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ 問題解決ゼミナールⅠ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 2年次の11月以降に入室試験を行う。 詳細については、6～7月にOh-o!Meijiからお知らせを配信する。 入室決定者は、翌年4月に大学側で履修登録を行う。 原則として履修の取消しはできない。 問題析ゼミナールは3年次・問題解決ゼミナールは4年次に履修する。
4	卒業論文・卒業制作	<ul style="list-style-type: none"> 通年2単位とする。ただし、各学期の履修上限単位数に含まない。 WEB履修登録（本登録）期間に履修登録すること。 9月の履修修正期間に履修削除が可能。 その他詳細はOh-o!Meijiを通じてお知らせする。

学際科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	情報コミュニケーション学入門A 情報コミュニケーション学入門B	<ul style="list-style-type: none"> 毎回異なる教員により、オムニバス形式で授業を行う。 1年次の履修 <ul style="list-style-type: none"> ①大学側で履修登録を行う。 ②1年次春・秋学期にA・B各1コマずつ履修をする。 2～4年次の履修（再履修） 大学側で再履修科目の登録を行う。
3	情報コミュニケーション学	<ul style="list-style-type: none"> 分野の異なる複数クラスを開講する。コーディネーターが異なれば、重複して履修登録することができる。

専門科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	市民社会と法Ⅰ 市民社会と法Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民社会と法Ⅱ」「犯罪と法Ⅱ」の履修には、それぞれのⅠを履修中または修得済であることが必要である。 Ⅰの単位を修得できなかった場合、Ⅱの履修は秋学期授業開始前に削除される。
	犯罪と法Ⅰ 犯罪と法Ⅱ	
	ジェンダー論	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で実施するクラスと英語で実施するクラスがある。 両方とも履修することが可能。
2	先取り履修科目 (3・4年次配当科目)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次に、専門科目群(社会システム、文化と表象、人間と環境)の一部科目の中から、通年で2科目まで履修が可能。先取り履修できる科目一覧については、P.23参照。 ・修得した科目名は、「先取り履修科目(3・4年次配当科目)」となり、成績証明書にもそのように表記される。成績証明書に本来の科目名の記載を希望する場合は、2年次に先取り履修せず、必ず3・4年次に履修すること。 ・修得した単位数は、専門科目群の各科目区分に算入される。
3	家族と法Ⅰ・Ⅱ 現代型犯罪と刑法Ⅰ・Ⅱ 現代政治学Ⅰ・Ⅱ コーポレート・ガバナンスⅠ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 財産と法Ⅰ・Ⅱ ジェンダー・マネジメントⅠ・Ⅱ 紛争解決システム論Ⅰ・Ⅱ 近・現代史Ⅰ・Ⅱ ジェンダーと社会Ⅰ・Ⅱ ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ 多文化と相互理解Ⅰ・Ⅱ 比較文学・比較文化AⅠ・AⅡ 比較文学・比較文化BⅠ・BⅡ 環境政策Ⅰ・Ⅱ 生命思想史Ⅰ・Ⅱ 認知科学Ⅰ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱの履修には、それぞれⅠの履修または修得が必要である。 Ⅰの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にⅡの履修を大学側で削除する。
	映像表現論(映像制作) 映像表現論(編集スキル)	<ul style="list-style-type: none"> ・「映像表現論(映像制作)、(編集スキル)」については履修申込にあたり、事前課題を設ける。 Oh-o!Meiji のアンケートにて申込をすること。

外国語科目群

- ・履修クラスを指定する科目について
 - ①大学側で履修登録を行う。
 - ②原則、他のクラスへの変更はできない。
- ・外国語は半期 1 単位で開講される。(各語学の演習 I・II、英語コミュニケーション I・II、英語音声学は 1 コマ 2 単位)

英語

- ・英語科目は段階履修ではない。(英語コミュニケーション I・II を除く)
- ・ English Skills について
 - ①「A」は会話・コミュニケーションを中心とし、「B」は講読・文法を中心とする。
 - ②「A」「B」は同時並行で履修する。ただし、いずれかが未修得となった場合はこの限りではない。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	English Skills A I・A II English Skills B I・B II	<ul style="list-style-type: none"> ・履修クラスを指定する。TOEIC (4 月実施) スコアにより達成度別 (基礎・中級・上級) にクラス編成を行う。 ・ SPICE (英語特別クラス) については別途選考を行う。詳細は P.31 および SPICE 説明会動画を確認すること。 <p><再履修について> 履修希望者は、Oh-o!Meiji から再履修登録についてのお知らせを確認し、所定の期間に手続きをとること。</p>
2	Critical Reading Critical Discussion	<ul style="list-style-type: none"> ・履修クラスを指定する。TOEIC (秋学期実施) のスコアにより、達成度別 (中級・上級) にクラス編成を行う。 ・ Critical Reading / Critical Discussion の各 1 クラスを SPICE 対象クラスとする。 ・ Critical Reading と Critical Discussion は春・秋学期に分けて履修する。 <p>【例】春学期：Critical Reading — 秋学期：Critical Discussion 春学期：Critical Discussion — 秋学期：Critical Reading</p>
1	Speech & Debate A Speech & Debate B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 クラス 20 名程度の少人数で会話中心の授業を行う。毎回予習・復習など綿密な学習を必要とする授業の中で、英語能力のレベルアップを目指す。 ・ 英語でコミュニケーションしたい学生、留学を考えている学生は積極的に履修することを勧める。
2	Critical Writing A Critical Writing B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 クラス 20 名程度の少人数でパラグラフライティングから始まり、トピックセンテンスの書き方、アイディアの発展から結論までの書き方を学ぶ。基礎をしっかりと身につけ、エッセイライティングにも挑戦する。文献の探し方や引用方法についてもあわせて学んでいく。 ・ Critical Writing A・B の各 1 クラスを SPICE 対象クラスとする。SPICE クラスの履修登録は大学側で行う。
3	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	<ul style="list-style-type: none"> ・ この科目は SPICE プログラム履修者専用のクラスと、通常のクラスの 2 クラスが開講される。いずれか 1 つのみ履修できる。 ・ II の履修には、それぞれ I の履修または修得が必要である。I の単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前に II の履修を大学側で削除する。 <p>【SPICE 専用クラスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SPICE プログラム履修者専用の科目は、WEB 履修では登録できない。 ・ 特に辞退の申し出がない場合、継続するものとして大学側で履修登録を行う。

SPICE（英語特別クラス）について

— Special Program for Information & Communication in English —

20 人程度の少人数選抜クラスで、英語でコミュニケーションができる学生を養成する。

受講希望者は、下記の URL もしくは QR コードから要項を確認し、定められた期間および方法で申し込みをすること。なお、2021 年度入学者よりプログラムの修了要件等、一部内容を変更したため、プログラム内容の一部が 2020 年度以前入学者と異なるため、注意すること。

<https://www.meiji.ac.jp/infocom/mkmht00000251m5e-att/a1741770820538.pdf>

1 定員

20 名程度。原則として、1 年生のみが応募対象となる。

ただし、2 年次以降に追加募集することがある。

2 受講・継続条件

- (1) SPICE 要件科目で、B 評価以上の成績を修めた場合、プログラム修了要件単位として認める。
- (2) SPICE 要件科目のうち、基幹科目の成績が C 評価以下になった場合、次学期以降 SPICE クラス専用科目を受講することができない。
- (3) TOEIC および TOEFL を毎年度それぞれ 1 回ずつ必ず受験すること。
- (4) 特に本人からの申し出等がない場合、2 年次以降もプログラムを継続するものとする。

3 修了要件

SPICE のプログラムは『ステージ 1』および『ステージ 2』の 2 つのステージから成る。

- (1) ステージ 1（主に和泉キャンパス、1～2 年次）は、基幹科目から 10 単位、実践科目から 4 単位の計 14 単位の修得を必要とする。
- (2) ステージ 2（主に駿河台キャンパス、3～4 年次）は、基幹科目から 6 単位、実践科目から 8 単位の計 14 単位の修得を必要とする。

※ステージ 1 とステージ 2 の合計要件単位（28 単位）を修めた学生を SPICE 全プログラムの修了者とするが、それぞれのステージでも修了を認定する。

※ステージ 1 において実践科目の要件単位（4 単位）を超えて修得した場合、超過単位分はステージ 2 の実践科目の要件単位として認定される。

※3 年次終了時にすべての要件単位を修得した場合、その時点で全プログラム修了が可能である。

4 修了証の授与

全プログラム（ステージ 1 およびステージ 2）修了者には、「SPICE 修了証明書」を授与する。その中でも、優秀修了者（TOEIC 820 以上、IELTS 6.5 以上、TOEFL IBT90 以上あるいは TOEFL ITP 577 以上のスコアを取得した学生）は、卒業時の学位授与式にて特別に表彰される。

●要件科目一覧

科目区分	配当年次 必修区分	必要 単位数	科目名	単位数	備考
基幹科目	1 年次必修 (ステージ 1)	6 単位	English Skills A I (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			English Skills A II (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			English Skills B I (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			English Skills B II (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			Speech & Debate A	1	一般科目
			Speech & Debate B	1	一般科目
	2 年次必修 (ステージ 1)	4 単位	Critical Reading (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			Critical Discussion (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			Critical Writing A (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			Critical Writing B (SPICE)	1	プログラム専用クラス
	3 年次必修 (ステージ 2)	6 単位	English Seminar I	1	一般科目
			English Seminar II	1	一般科目
			英語コミュニケーション I	2	プログラム専用クラス
			英語コミュニケーション II	2	プログラム専用クラス

2021 年度以降入学者

実践科目	1・2年次 選択必修 (ステージ1)	4単位	<p>★情コミ学部主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で行われる情コミ学部科目※ ・国際交流（短期留学科目） <p>★情コミ学部以外主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で行われる他学部科目 ・他学部設置短期留学科目（英語圏） ・国際教育センター主催短期海外留学科目（英語圏） <p>（※単位化されているもののみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のプログラムのうち、英語で行われる科目 学部間共通外国語 グローバル人材育成プログラム <p>《2022年度以前入学者のみ》</p> <p>国際教育プログラム科目</p>	—	<p>※「英語で行われる情コミ学部科目」は以下のとおり。（当年度開講科目は、各自時間割表を確認すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー論 ・パブリック・スピーキング ・英語音声学 ・英語の文化と歴史 ・比較文学・比較文化 <p>A I・A II</p> <p>※Oh-o!Meiji のクラスウェブ内シラバスの「授業言語」が「英語」となっている科目が対象です。</p>
	3・4年次 選択必修 (ステージ2)	8単位			
合 計		28 単位			

ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語

- ・母国語を選択することはできない。
- ・外国人留学生は、選択する1言語を日本語とする。
- ・Ⅱの履修には、各言語Ⅰの履修または修得が必要である。
Ⅰの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にⅡの履修を大学側で削除する。
- ・ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語について
 - ①「A」は会話・コミュニケーションを中心とし、「B」は講読・文法を中心とする。
 - ②「A」「B」は同時並行で履修する。ただし、いずれかが未修得となった場合はこの限りではない。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	ドイツ語 A I・A II、B I・B II フランス語 A I・A II、B I・B II スペイン語 A I・A II、B I・B II 中国語 A I・A II、B I・B II 韓国語 A I・A II、B I・B II タイ語 A I・A II、B I・B II	<ul style="list-style-type: none"> ・履修クラスを指定する。 入学手続き時の履修希望（第1～第3希望）によりクラス編成を行う。 <p><3～4年生の履修について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の期間に情報コミュニケーション学部事務室（駿河台）で説明を受けて、手続きをとること。
2	ドイツ語演習Ⅰ・Ⅱ フランス語演習Ⅰ・Ⅱ スペイン語演習Ⅰ・Ⅱ 中国語演習Ⅰ・Ⅱ 韓国語演習Ⅰ・Ⅱ タイ語演習Ⅰ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の各語学演習の履修希望者は、1年次に同語学必修を履修していない場合、当該語学1年次必修修了と同等の語学力を有することが望ましい。語学力の目安は以下のとおり。 <p>【ドイツ語】ドイツ語検定（独検）4級程度</p> <p>【フランス語】フランス語検定（仏検）4級程度</p> <p>【スペイン語】DELE スペイン語検定（インスティトゥト・セルバントス）A2またはスペイン語検定（日本スペイン協会）4級程度</p> <p>【中国語】中国語検定4級程度</p> <p>【韓国語】ハングル検定4級程度</p> <p>【タイ語】実用タイ語検定5級程度</p>

日本語（外国人留学生のみ）

留学生共通日本語「日本語（上級）シラバス」（WEB）を参照すること。

https://www.meiji.ac.jp/cip/student_support/japanese/jmenu.html

- ・外国人留学生は、選択する1言語を日本語とする。
- ・履修クラスを指定する（全学部共通クラス）。
- ・日本語は段階履修としない。



履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	日本語 A I・A II	読解
	日本語 B I・B II	作文
2	日本語 A III・A IV	速読
	日本語 B III・B IV	精読

再履修

再履修科目の登録方法については、各期間の成績公開後、別途案内する。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1・2	英語科目	<ul style="list-style-type: none"> 再履修科目を設置しない。 段階履修ではないため、春学期履修科目が未修得の場合も秋学期科目を履修する。
1	ドイツ語 A I・A II、B I・B II フランス語 A I・A II、B I・B II スペイン語 A I・A II、B I・B II 中国語 A I・A II、B I・B II 韓国語 A I・A II、B I・B II タイ語 A I・A II、B I・B II	<ul style="list-style-type: none"> 再履修科目を設置しない。 1 年次春学期に I を未修得の場合、2 年次春学期に再度履修する。
1	日本語 A I・A II、B I・B II	<ul style="list-style-type: none"> 再履修科目を設置しない。 1 年次春学期に I を未修得の場合も、1 年次秋学期に II を続けて履修する。 1 年次春学期で未修得となった I の科目は、2 年次春学期に再度履修する。

研究方法・表現実践科目群

情報リテラシー科目

『情報関係科目 実力確認テスト』(WEB)を受験し、診断結果を確認のうえ情報リテラシー科目選択の参考にすること。詳細は、「情報関係科目シラバス」(WEB)を参照すること。

https://www.meiji.ac.jp/edu-info/about_ict.html



履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	ネットワーク技術 I ネットワーク技術 II ネットワーク技術 III	<ul style="list-style-type: none"> 初歩的なコンピュータ操作技能をもった者を対象とする。パソコンの操作に不慣れな者は、ICT科目・各種講習会などでスキルアップしたのち履修することが望ましい。 段階履修について <ol style="list-style-type: none"> I から IV まで段階履修とする。 II から IV の履修は前グレードの修得が条件となる。 前グレードの単位を修得できなかった場合、履修予定の科目は授業開始前に削除される。 <p>【例】 春学期：ネットワーク技術 II 未修得 → 秋学期：ネットワーク技術 III 削除</p> <p>【注】 ネットワーク技術 II (春学期開講) の履修は I の修得が条件のため、1 年次に履修することができない。</p>
3	ネットワーク技術 IV	<ul style="list-style-type: none"> セット履修について <ol style="list-style-type: none"> II・III はセットで履修する。 WEB 履修登録の際は II のみ申込みこと。II の履修が確定した場合、III の登録は大学側で行う。 ネットワーク技術士資格を目指す者は、1 年次に「ネットワーク技術 I」を履修すること。
1	プログラミング実習 I プログラミング実習 II	<ul style="list-style-type: none"> 半期 1 単位で授業を行う。 セット履修について <ol style="list-style-type: none"> I・II をセットで履修する。 WEB 履修登録の際は I のみ申込みこと。 I の履修が確定した場合、II の登録は大学側で行う。 段階履修について <ol style="list-style-type: none"> I から II を段階履修とする。 II の履修は I の修得が条件となる。 I の単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前に II の履修は削除される。 アルゴリズム実習の履修は、プログラミング実習 I・II の修得が条件となる。
3	アルゴリズム実習 I アルゴリズム実習 II	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズム実習の履修は、プログラミング実習 I・II の修得が条件となる。 II の履修には、それぞれ I の履修または修得が必要である。I の単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前に II の履修を大学側で削除する。

2021 年度以降入学者

1	専門情報リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ I C Tベーシック修了程度のレベルを必要とする。 ・ () 内のテーマが異なる科目は複数履修することができる。
1	I C T 科目	<p>「情報関係科目シラバス」(WEB)を参照し履修手続を行うこと。 (前頁の URL もしくは QR コードから閲覧可能。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「I C Tベーシック」は、研究方法・表現実践科目に含まれない。修得した単位は「自由に選択できる科目」に含まれる。 <p>< I C Tとは…> I C T (Information and Communication Technology) とは「情報通信技術」のことで、情報や通信に関する技術の総称です。情報関係科目では時代に即した I C T活用能力の習得と、学部の専門科目において I C Tスキルの活用ができる能力を養うことができます。</p>

情報関係科目 実力確認テスト 診断基準

得点	推奨科目
60～85点	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、I C Tベーシック(※)
90～135点	専門情報リテラシー、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、I C T統計解析Ⅰ・Ⅱ、I C T統計解析入門・応用、I C TデータベースⅠ・Ⅱ、I C Tデータベース入門・応用、I C Tメディア編集Ⅰ・Ⅱ、I C T画像編集入門・応用、I C T動画編集入門・応用、I C T音楽編集入門・応用、I C Tアプリ開発Ⅰ・Ⅱ、I C Tプログラミング入門・応用、I C T Web ページ作成、I C TコンテンツデザインⅠ・Ⅱ、I C T eラーニングデザイン入門・応用
140点以上	専門情報リテラシー、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、I C T総合実践Ⅰ・Ⅱ、I C Tプレゼンテーション

※「I C TベーシックⅠ・Ⅱ」「I C Tベーシック」は、「研究方法・表現実践科目群」に含まれない。

情報リテラシー科目群の段階履修一覧

科目名	前提科目	条件	備考
I C T科目Ⅱ	I C T科目Ⅰ	単位修得	
ネットワーク技術Ⅱ～Ⅳ	ネットワーク技術Ⅰ～Ⅲ	単位修得	ネットワーク技術士
プログラミング実習Ⅱ	プログラミング実習Ⅰ	単位修得	
アルゴリズム実習Ⅰ	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ	単位修得	
アルゴリズム実習Ⅱ	アルゴリズム実習Ⅰ	単位修得	

情報リテラシー科目群の関連資格一覧

科目名	資格	備考
情報リテラシー科目群全般	I Tパスポート	
ネットワーク技術Ⅰ～Ⅳ	C C N A (Cisco Certified Network Associate)	ネットワーク技術士

上記科目を修了すると、各資格を取得するレベルの実力が付くことになる。

※資格取得は、科目の修得のみでは得られません。

日本語表現科目

この科目は、日本語の適切な活用を可能にするための演習科目です。
大学生が社会に出る際も、認識や思考や感受性の定着を的確に行うため、日本語の使用能力の向上は欠かせません。
改めて日本語を学ぶことで、新しい発見や自信が身につく授業です。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・セット履修について <ol style="list-style-type: none"> ①Ⅰ・Ⅱをセットで履修する。 ②WEB履修登録の際はⅠのみ申込むこと。 履修が確定した場合、Ⅱの登録は大学側で行う。 ・段階履修について <ol style="list-style-type: none"> ①ⅠからⅡを段階履修とする。 ②Ⅱの履修はⅠの修得が条件となる。 ③Ⅰの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にⅡの履修を大学側で削除する。

2021 年度以降入学者

クリエイション科目		
履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	クリエイティブ・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> WEB 履修登録（抽選Ⅰ）の期間に申込できるのは、通年で1コマのみ。多く申し込んだ場合、クリエイティブ・コミュニケーションの申込が全て削除されるため注意すること。 抽選Ⅰの登録で定員に満たなかったクラスについては、WEB 履修登録（抽選Ⅱ）以降の期間に追加登録を受け付ける。（ ）内のテーマが異なる科目であれば複数履修可能。
2	身体コミュニケーションA 身体コミュニケーションB	<ul style="list-style-type: none"> 和泉キャンパス開講の身体コミュニケーションA、身体コミュニケーションBは、同一年度ではいずれか一方しか履修することができない。 A・Bいずれも WEB 履修登録（抽選Ⅰ）の期間に申込みこと。ただし、A・Bの両方を申し込んだ場合には両方も履修が削除されるため、注意すること。
3	デジタルアートA デジタルアートB	<ul style="list-style-type: none"> 複数クラス開講するが、いずれか1つのみ履修できる。 担当教員により授業内容が異なるため、授業概要をよく確認すること。
	デジタルプレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 複数クラス開講するが、いずれか1つのみ履修できる。
	メディア教育論	<ul style="list-style-type: none"> 複数クラス開講するが、いずれか1つのみ履修できる。 担当教員により授業内容が異なるため、授業概要をよく確認すること。

リサーチリテラシー科目

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	統計学A 統計学B	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査士の資格取得に必要な科目である。 社会調査士の資格取得に関する詳細は、P.63 を参照すること。
2	社会調査法A 社会調査法B	
3	社会調査実習	<ul style="list-style-type: none"> 春学期第1週目の授業にて履修者を決定する。履修希望者は必ず出席すること。 定員を超過した場合は、社会調査士の資格関連科目のGP順に選抜する。 この科目は、複数クラス開講するが、いずれか1つのみ履修できる。 履修登録時の単位数は春・秋学期にそれぞれ1単位ずつで計算する。

海外留学科目群

「国際交流」は（ ）内のテーマが異なり、日程上支障がない場合、複数回履修することができる。
※「世界のキャンパスから」を除く。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等	
1	国際交流	世界のキャンパスから	<ul style="list-style-type: none"> WEB 履修登録期間（本登録）に履修登録を行う。 世界各地の研究者によるオムニバス授業となる。 履修上限単位数（半期24単位）に含む。
		メディア	<ul style="list-style-type: none"> 「国際交流」は（ ）内のテーマが異なり、日程上支障がない場合は複数回履修することができる。 履修が認められ、手続を行った者について、大学側が履修登録を行う。 履修上限単位数（半期24単位）を超えて履修することができる。
		タイ	
		イギリス	
—	留学関係科目	<ul style="list-style-type: none"> 協定留学及び認定留学をした学生が留学先大学で修得した単位を認定する際の科目である。 留学希望者は学部事務室にて詳細を確認すること。 	

ウェルネス科目群		
履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	ウェルネスA ウェルネスB	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容は使用施設によって異なるため、授業概要をよく確認すること。 ・ウェルネスAは実技が中心、ウェルネスBは講義が中心となる。 ・受講にあたっては、当該年度の健康診断を必ず受診すること。 ・ウェルネスAは、和泉・駿河台キャンパスの両方で開講する。 ・体育施設利用には室内シューズが必要となる。
ウェルネス・スポーツA・B・C・D		
<ul style="list-style-type: none"> ・1コマ1単位の実習授業である。 ・他学部との乗り入れ科目となるため、他学部設置科目も申込みことができる。 ・科目名は、次のとおり。 ウェルネス・スポーツA：春学期（和泉）、学外集中（夏季） ウェルネス・スポーツB：秋学期（和泉）、学外集中（冬季） ウェルネス・スポーツC：春学期（駿河台）、学外集中（夏季） ウェルネス・スポーツD：秋学期（駿河台）、学外集中（冬季） <p>【注】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春学期開講科目と学外集中（夏季）科目、秋学期開講科目と学外集中（冬季）科目はそれぞれ同じ科目のため、履修できるのはどちらか一方のみ。 ・受講にあたっては、当該年度の健康診断を必ず受診すること。 ・学外集中（冬季）科目を2年次に履修した場合、修得した単位は進級条件の単位として算入されない。また、4年次に履修した場合、単位は認定されないため注意すること。 ・9月卒業対象者が学外集中（夏季）科目を履修した場合、卒業条件の単位として算入されない。 		
2	ウェルネス・スポーツA ウェルネス・スポーツB	<p>「選択体育実技パンフレット（和泉キャンパス）」（WEB）を参照すること。</p> <p><選択体育実技パンフレット（和泉キャンパス）の掲載場所> https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/index.html </p> <p>※上記ホームページの「学部共通科目」の「選択体育実技（和泉キャンパス）」を確認すること。</p>
3	ウェルネス・スポーツC ウェルネス・スポーツD	<p>①履修を希望する場合、春学期の第1週目の授業で履修者を決定する。次頁の「選択体育実技一覧（駿河台キャンパス）」を参照のうえ、必ず出席すること。</p> <p>②秋学期の履修を希望する場合も、春学期の同一曜日・時限の第1週目の授業で履修者を決定するため、必ず出席すること。</p> <p>※授業内容は、科目主催学部のシラバスで確認すること。</p>

2025年度選択体育実技一覧 (駿河台キャンパス)

主催 学部	開講期	曜日	時限	場所※	学部科目名	種目	定員	担当教員			備考
								所属	資格	氏名	
法	春	木	2	ホール	スポーツ実習	フットサル	25	法	専任	釜崎 太	
	秋	木	3	ホール	スポーツ実習	フットサル	25	法	専任	釜崎 太	
政	春	火	3	ホール	運動学演習Ⅲ-1, IV-1	バレーボール	30	政経	兼任	中西 康己	
	秋	火	3	ホール	運動学演習Ⅲ-2, IV-2	バレーボール	30	政経	兼任	中西 康己	
	春	火	4	ホール	運動学演習Ⅲ-1, IV-1	バレーボール	30	政経	兼任	中西 康己	
	秋	火	4	ホール	運動学演習Ⅲ-2, IV-2	バレーボール	30	政経	兼任	中西 康己	
	春	金	3	ホール	運動学演習Ⅲ-1, IV-1	マルチスポーツ	30	政経	兼任	相澤 勝治	
	秋	金	3	ホール	運動学演習Ⅲ-2, IV-2	マルチスポーツ	30	政経	兼任	相澤 勝治	
	春	金	4	ホール	運動学演習Ⅲ-1, IV-1	マルチスポーツ	30	政経	兼任	相澤 勝治	
	秋	金	4	ホール	運動学演習Ⅲ-2, IV-2	マルチスポーツ	30	政経	兼任	相澤 勝治	
文	春	火	2	ルーム	生涯スポーツⅡ	卓球	24	文	兼任	出井 章雅	
	秋	火	2	ルーム	生涯スポーツⅡ	卓球	24	文	兼任	出井 章雅	
	春	火	4	ルーム	生涯スポーツⅡ	太極拳	30	文	兼任	劉 立凡	
	秋	火	4	ルーム	生涯スポーツⅡ	太極拳	30	文	兼任	劉 立凡	
	春	水	1	ホール	生涯スポーツⅡ	テニス	15	文	専任	田中 伸明	経験者対象
	秋	水	1	ホール	生涯スポーツⅡ	テニス	15	文	専任	田中 伸明	経験者対象
	春	水	2	ホール	生涯スポーツⅡ	テニス	15	文	専任	田中 伸明	経験者対象
	秋	水	2	ホール	生涯スポーツⅡ	テニス	15	文	専任	田中 伸明	経験者対象
情	春	金	1	ホール	ウェルネス・スポーツC	バレーボール	20	情コミ	兼任	奈良岡 佑南	
	秋	金	1	ホール	ウェルネス・スポーツD	バスケットボール	20	情コミ	兼任	奈良岡 佑南	
定員合計						春学期	249				
						秋学期	249				

※ ルーム:リパティタワー地下2階スポーツルーム
ホール:リパティタワー地下3階スポーツホール

【履修に際しての注意事項】

- 法学部、政治経済学部、文学部及び情報コミュニケーション学部の3・4年生を対象とした科目です。
- 所属学部により履修科目名が異なります。
法学部＝「スポーツ実習」
政治経済学部＝「運動学演習Ⅲ-1・2, IV-1・2」
文学部＝「生涯スポーツⅡ」
情報コミュニケーション学部＝「ウェルネス・スポーツC, D」
- 所属学部以外の学部が主催する科目も履修することができます。
※ 文学部主催科目は卒業に必要な必修科目として履修することはできません。
- 授業内容は科目主催学部のシラバスを確認してください。
- 履修を希望する者は、春学期の第1週目の授業で履修者を決定しますので、必ず出席して下さい。
※ 秋学期科目の履修を希望する者も春学期の同一曜日・時限の第1週目の授業に必ず出席して下さい。
- 履修希望者が定員を超えた場合は、以下の優先順位で抽選を行います。
(1) 科目主催学部の学生
(2) 科目主催学部以外の学生
- 政治経済学部の学生は、政治経済学部主催の秋学期科目についてのみ、秋学期の第1週目の授業で担当教員が認めた場合に限り、秋学期に履修を追加することができます。

キャリアデザイン科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 春・秋学期に各1コマ開講する。 ゲスト講師によるオムニバス形式で授業を行う。 自らのキャリアをデザインしていくための糸口を見つけることを目標としているため、1年次に受講することが望ましい。
2	インターンシップ入門	<ul style="list-style-type: none"> 春・秋学期に各1コマ開講する。 この科目は、グループワークなどを行い、ゲスト講師を招く講義もある。
3	実践キャリア支援講座	<ul style="list-style-type: none"> この科目は秋学期開講前まで履修者を募集する。 履修希望者は必ず期限内に申し込みすること。 履修を希望する場合は、当該授業時間に他の科目を予め履修登録しないこと。また、履修上限単位数も超過しないように留意すること。

情報リテラシー科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	ICTベーシック I ICTベーシック II	<p>「情報関係科目シラバス」(WEB)を参照し履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/edu-info/about_ict.html</p>  <ul style="list-style-type: none"> ICTベーシックは、研究方法・表現実践科目に含まれない。 ICT科目は段階履修のため、IIの履修はIの修得が条件となる。Iの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にIIの履修は削除される。

総合講座

学部や文理の枠を越えた学際的な授業により、学問的視野を広げ、問題発見能力や判断力を養う。
各分野で活躍するゲスト講師により、最先端のニュース等をテーマに取り上げている。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	総合講座A・B・C・D	<p>「全学共通総合講座シラバス」(WEB)を参照し履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/edu/zengaku/index.html</p>  <ul style="list-style-type: none"> 和泉キャンパス開講科目は、他の科目と履修日程が異なるため、特に注意すること。 科目名は、開講期・開講キャンパスによって次のとおり。 総合講座A：【春学期】和泉・生田・黒川農場・中野 総合講座B：【秋学期】和泉・生田・黒川農場・中野 総合講座C：【春学期】駿河台 総合講座D：【秋学期】駿河台 在学期間を通じて、総合講座A・B・C・Dを各2科目(4単位)計16単位まで履修することができる。修得した単位は、「自由に選択できる科目」として卒業単位に含まれる。 同じ科目名で複数キャンパスにて開講している場合があるため、履修登録の際は注意すること。

学部設置外科目の卒業単位認定科目

合計 40 単位を上限とし、「自由に選択できる科目」として卒業単位に認定する。

科目名	履修手続き・注意事項等
学部間共通外国語 (MLP)	<p>「学部間共通外国語シラバス」 (WEB) を参照し履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/edu/foreign/jikan/syllabus.html</p>  <ul style="list-style-type: none"> 多面的な外国語能力を向上させるため、主にネイティブスピーカーの教員が担当する「会話」を中心とした科目や、学部では設置されていない外国語科目が設置されている。 他の科目と異なるルールがあるため注意すること。 修得した単位は、「自由に選択できる科目」として卒業単位に含まれる。 情コミ学部「外国語科目群」の科目として振替えることはできない。 夏期集中講座、春期集中講座は、半期 24 単位の履修上限を超えて履修することができる。 夏期集中講座を 4 年次に履修したもので、9 月卒業を希望する場合、単位は認定されないため注意すること。 春期集中講座を 2 年次に履修した場合、修得した単位は進級条件の単位として算入されない。また、4 年次に履修した場合、単位は認定されないため注意すること。
グローバル人材育成プログラム	<p>大学 HP を参照し履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/globalcareer.html</p>  <ul style="list-style-type: none"> 「グローバル人材育成プログラム」で修得した単位は、合計 16 単位まで「自由に選択できる科目」として卒業単位に含まれる。夏期集中講座を 4 年次に履修したもので、9 月卒業を希望する場合、単位は認定されないため注意すること。 春期集中講座を 2 年次に履修した場合、修得した単位は進級条件の単位として算入されない。また、4 年次に履修した場合、単位は認定されないため注意すること。 「グローバル人材育成プログラム」において長期休業期間中に海外留学を実施する科目は、履修上限単位数 (半期 24 単位) を超えて履修することができる。
他学部履修科目	<ul style="list-style-type: none"> 「本登録期間」に履修登録を行う。 設置学部が履修を許可した科目について、履修することができる。履修の可否・授業内容・時間割については別途案内する。
留学生共通日本語	<p>日本語・留学生共通日本語「日本語 (上級) シラバス」 (WEB) を参照し、履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/cip/student_support/japanese/jmenu.html</p>  <ul style="list-style-type: none"> 受講希望科目の第 1 回目の授業に必ず出席すること。

カリキュラムマップ

情報コミュニケーション学部

- (DP1) 教養としての知識を学び、多角的に物事を考える能力
- (DP2) 現代社会を理解する知識を学び、リーダーシップを発揮できる力
- (DP3) 異文化を理解する知識を学び、批判的に思考する能力
- (DP4) 論理的な思考方法を身につけ、データを重視する思考力
- (DP5) 現代社会を理解する、高度かつ専門的な知識を学び、国際的課題に取り組む能力
- (DP6) 異文化理解のための専門的な知識を学び、高度なコミュニケーション能力を発揮する力
- (DP7) 新しい物事に挑戦する意識を高め、専門分野に関し身に付けた高度な知識
- (DP8) 外国語の運用能力を高め、高度なコミュニケーション能力を発揮する力
- (DP9) 調査・実践をおこなうための能力を身につけ、プレゼンテーション能力を発揮する力
- (DP10) 問題点を発見し、解決する能力を会得し、高いプレゼンテーション能力とともに、リーダーシップを発揮できる力
- (DP11) 調査・実践をおこなうための能力を身に付け、自主的に学び判断する能力

★DPとは…ディプロマポリシー(学位授与方針)

情報コミュニケーション学部では、変化の大きい現代社会を多角的な視点で見極め、その中から自ら問題を発見し、解決方法を探るプロセスを組み立てることができるとの育成を目指しています。

その具体的到達目標は、学修成果として左記にある11区分の能力・知識を有する学生に「学士(情報コミュニケーション学)」を授与することです。

※詳細はP.4で確認してください。

科目区分	授業科目	単位数	履修開始年次	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	(DP7)	(DP8)	(DP9)	(DP10)	(DP11)	
ゼミナール科目群	基礎ゼミナール	4	1	○	○								◎		
	問題発見テーマ演習A	2	2									○	◎	○	
	問題発見テーマ演習B	2	2									○	◎	○	
	問題分析ゼミナールⅠ	2	3							○		○	◎	○	
	問題分析ゼミナールⅡ	2	3							○		○	◎	○	
	問題解決ゼミナールⅠ	2	4							○		○	◎	○	
	問題解決ゼミナールⅡ	2	4							○		○	◎	○	
	卒業論文・卒業制作	2	4							○		○	◎	○	
学際科目群	情報コミュニケーション学入門A	2	1	◎	○	○	○								
	情報コミュニケーション学入門B	2	1	◎	○	○	○								
	情報コミュニケーション学	2	3	◎				○	○	○					
社会科学	家族社会学概論	2	1		◎			○							
	環境と社会	2	1		◎			○							
	経営学	2	1		◎			○							
	憲法A	2	1		◎			○							
	憲法B	2	1		◎			○							
	コミュニティ論	2	1		◎			○							
	ジェンダー論	2	1		◎			○							
	市民社会と法Ⅰ	2	1		◎			○							
	市民社会と法Ⅱ	2	1		◎			○							
	社会学A	2	1		◎			○							
	社会学B	2	1		◎			○							
	社会心理学A	2	1		◎			○							
	社会心理学B	2	1		◎			○							
	情報社会と経済	2	1		◎			○							
	情報倫理	2	1		◎			○							
	政治学	2	1		◎			○							
	組織論	2	1		◎			○							
	犯罪と法Ⅰ	2	1		◎			○							
	犯罪と法Ⅱ	2	1		◎			○							
	法学	2	1		◎			○							
	マクロ経済学	2	1		◎			○							
	ミクロ経済学	2	1		◎			○							
	メディア・リテラシー	2	1		◎			○							
	人文科学	異文化理解	2	1			◎			○					
		英語文学A	2	1			◎			○					
英語文学B		2	1			◎			○						
外国文学		2	1			◎			○						
言語学		2	1			◎			○						
宗教学		2	1			◎			○						
小集団コミュニケーション		2	1			◎			○						
新興国事情		2	1			◎			○						
心理学A		2	1			◎			○						
心理学B		2	1			◎			○						
生命論A		2	1			◎			○						
生命論B		2	1			◎			○						
西洋史概論		2	1			◎			○						
地域文化論(基礎)		2	1			◎			○						
地誌学		2	1			◎			○						
地理学		2	1			◎			○						
哲学		2	1			◎			○						
東洋史概論		2	1			◎			○						
日本史概論		2	1			◎			○						
日本文学		2	1			◎			○						
パブリック・スピーキング		2	1			◎			○						
比較文化(基礎)A		2	1			◎			○						
比較文化(基礎)B		2	1			◎			○						
メディア批評		2	1			◎			○						
歴史学		2	1			◎			○						
自然科学	科学技術史	2	1				◎			○					
	環境生物学	2	1				◎			○					
	情報科学	2	1				◎			○					
	情報検索論	2	1				◎			○					
	人類学A	2	1				◎			○					
	人類学B	2	1				◎			○					
	地球環境科学	2	1				◎			○					
脳科学	2	1				◎			○						

科目区分	授業科目	単位数	履修開始年次	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	(DP7)	(DP8)	(DP9)	(DP10)	(DP11)	
社会システム	イノベーションの経済学	2	3		○			◎							
	NPO論	2	3		○			◎							
	家族と法Ⅰ	2	3		○			◎							
	家族と法Ⅱ	2	3		○			◎							
	経済思想史	2	3		○			◎							
	現代アメリカ政治論	2	3		○			◎							
	現代型犯罪と刑法Ⅰ	2	3		○			◎							
	現代型犯罪と刑法Ⅱ	2	3		○			◎							
	現代行政と法A	2	3		○			◎							
	現代行政と法B	2	3		○			◎							
	現代政治学Ⅰ	2	3		○			◎							
	現代政治学Ⅱ	2	3		○			◎							
	公共政策A	2	3		○			◎							
	公共政策B	2	3		○			◎							
	コーポレート・ガバナンスⅠ	2	3		○			◎							
	コーポレート・ガバナンスⅡ	2	3		○			◎							
	国際開発論	2	3		○			◎							
	国際関係論Ⅰ	2	3		○			◎							
	国際関係論Ⅱ	2	3		○			◎							
	国際経済論A	2	3		○			◎							
	国際経済論B	2	3		○			◎							
	個人と国家	2	3		○			◎							
	財産と法Ⅰ	2	3		○			◎							
	財産と法Ⅱ	2	3		○			◎							
	ジェンダーと法A	2	3		○			◎							
	ジェンダーと法B	2	3		○			◎							
	ジェンダー・マネジメントⅠ	2	3		○			◎							
	ジェンダー・マネジメントⅡ	2	3		○			◎							
	社会思想史	2	3		○			◎							
	社会福祉学A	2	3		○			◎							
	社会福祉学B	2	3		○			◎							
	情報産業論	2	3		○			◎							
	情報システム論	2	3		○			◎							
	情報社会論A	2	3		○			◎							
	情報社会論B	2	3		○			◎							
	情報政策論A	2	3		○			◎							
	情報政策論B	2	3		○			◎							
	情報法A	2	3		○			◎							
	情報法B	2	3		○			◎							
	人権と政策	2	3		○			◎							
	政治とメディア	2	3		○			◎							
	ソーシャルビジネス論	2	3		○			◎							
	組織と情報	2	3		○			◎							
	知的財産法A	2	3		○			◎							
	知的財産法B	2	3		○			◎							
	犯罪社会学	2	3		○			◎							
	ビジネスと法A	2	3		○			◎							
	ビジネスと法B	2	3		○			◎							
	ファイナンス論A	2	3		○			◎							
	ファイナンス論B	2	3		○			◎							
紛争解決システム論Ⅰ	2	3		○			◎								
紛争解決システム論Ⅱ	2	3		○			◎								
マスコミュニケーション論A	2	3		○			◎								
マスコミュニケーション論B	2	3		○			◎								
メディアの歴史	2	3		○			◎								
メディア論	2	3		○			◎								

専門科目群

科目区分	授業科目	単位数	履修開始 年次	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	(DP7)	(DP8)	(DP9)	(DP10)	(DP11)
文化と表象	アート・マネジメント	2	3			○			◎					
	異文化コミュニケーション史	2	3			○			◎					
	英語の文化と歴史	2	3			○			◎					
	映像表現論	2	3			○			◎					
	音楽表現論	2	3			○			◎					
	記号論	2	3			○			◎					
	近・現代史Ⅰ	2	3			○			◎					
	近・現代史Ⅱ	2	3			○			◎					
	言語圏研究	2	3			○			◎					
	言語表現論	2	3			○			◎					
	広告論	2	3			○			◎					
	ジェンダーと社会Ⅰ	2	3			○			◎					
	ジェンダーと社会Ⅱ	2	3			○			◎					
	ジャーナリズム論Ⅰ	2	3			○			◎					
	ジャーナリズム論Ⅱ	2	3			○			◎					
	社会文化史	2	3			○			◎					
	情報社会と教育A	2	3			○			◎					
	情報社会と教育B	2	3			○			◎					
	情報社会と芸術	2	3			○			◎					
	情報社会と出版	2	3			○			◎					
	情報デザイン論	2	3			○			◎					
	情報文化論	2	3			○			◎					
	スポーツ・ジャーナリズム論	2	3			○			◎					
	造形表現論	2	3			○			◎					
	多文化と相互理解Ⅰ	2	3			○			◎					
	多文化と相互理解Ⅱ	2	3			○			◎					
	地域文化論(英語圏)A	2	3			○			◎					
	地域文化論(英語圏)B	2	3			○			◎					
	地域文化論(ドイツ)	2	3			○			◎					
	地域文化論(フランス)	2	3			○			◎					
	地域文化論(スペイン)	2	3			○			◎					
	地域文化論(中国)	2	3			○			◎					
	地域文化論(朝鮮)	2	3			○			◎					
	地域文化論(イスラーム)	2	3			○			◎					
	超域文化論	2	3			○			◎					
	日本文化論A	2	3			○			◎					
	日本文化論B	2	3			○			◎					
	比較文学・比較文化AⅠ	2	3			○			◎					
	比較文学・比較文化AⅡ	2	3			○			◎					
	比較文学・比較文化BⅠ	2	3			○			◎					
比較文学・比較文化BⅡ	2	3			○			◎						
ユニバーサルデザイン	2	3			○			◎						
倫理学	2	3			○			◎						
人間と環境	意思決定論A	2	3				○			◎				
	意思決定論B	2	3				○			◎				
	異文化間コミュニケーション	2	3				○			◎				
	科学技術と人間	2	3				○			◎				
	家族社会学	2	3				○			◎				
	環境政策Ⅰ	2	3				○			◎				
	環境政策Ⅱ	2	3				○			◎				
	言語使用とディスコース	2	3				○			◎				
	コミュニケーション思想史	2	3				○			◎				
	自然言語の生成モデル	2	3				○			◎				
	自然地理学	2	3				○			◎				
	消費行動の心理学	2	3				○			◎				
	情報社会と安全A	2	3				○			◎				
	情報社会と安全B	2	3				○			◎				
	情報と経済行動	2	3				○			◎				
	情報と職業	2	3				○			◎				
	人口論	2	3				○			◎				
	身体と意識	2	3				○			◎				
	身体表現論	2	3				○			◎				
	人文地理学	2	3				○			◎				
	生命思想史Ⅰ	2	3				○			◎				
	生命思想史Ⅱ	2	3				○			◎				
	組織コミュニケーションA	2	3				○			◎				
	組織コミュニケーションB	2	3				○			◎				
	都市情報論	2	3				○			◎				
	人間性心理学	2	3				○			◎				
	認知科学Ⅰ	2	3				○			◎				
	認知科学Ⅱ	2	3				○			◎				
	ネットワーク社会論	2	3				○			◎				
	パーソナリティ心理学	2	3				○			◎				
	不確実性下の人間行動	2	3				○			◎				
	不思議現象の心理学	2	3				○			◎				
	法コミュニケーション	2	3				○			◎				
	リスク社会論	2	3				○			◎				
先取り履修科目	先取り履修科目(3・4年次配当科目)	2	2		○	○	○	◎	◎	◎				

科目区分		授業科目	単位数	履修開始 年次	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	(DP7)	(DP8)	(DP9)	(DP10)	(DP11)		
外国語科目群	英語	English Skills A I (基礎)	1	1						○		◎					
		English Skills A I (中級)	1	1						○		◎					
		English Skills A I (上級)	1	1						○		◎					
		English Skills A II (基礎)	1	1						○		◎					
		English Skills A II (中級)	1	1						○		◎					
		English Skills A II (上級)	1	1						○		◎					
		English Skills B I (基礎)	1	1						○		◎					
		English Skills B I (中級)	1	1						○		◎					
		English Skills B I (上級)	1	1						○		◎					
		English Skills B II (基礎)	1	1						○		◎					
		English Skills B II (中級)	1	1						○		◎					
		English Skills B II (上級)	1	1						○		◎					
		Speech & Debate A	1	1							○		◎				
		Speech & Debate B	1	1							○		◎				
		Critical Reading	1	2							○		◎				
		Critical Discussion	1	2							○		◎				
		Critical Writing A	1	2							○		◎				
		Critical Writing B	1	2							○		◎				
		English Seminar I	1	3							○		◎				
	English Seminar II	1	3							○		◎					
	英語コミュニケーション I	2	3							○		◎					
	英語コミュニケーション II	2	3							○		◎					
	英語音声学	2	3							○		◎					
	ドイツ語	ドイツ語A I	1	1						○		◎					
		ドイツ語A II	1	1						○		◎					
		ドイツ語B I	1	1						○		◎					
		ドイツ語B II	1	1						○		◎					
		ドイツ語演習 I	2	2						○		◎					
		ドイツ語演習 II	2	2						○		◎					
	フランス語	フランス語A I	1	1						○		◎					
		フランス語A II	1	1						○		◎					
		フランス語B I	1	1						○		◎					
		フランス語B II	1	1						○		◎					
		フランス語演習 I	2	2						○		◎					
	フランス語演習 II	2	2						○		◎						
	スペイン語	スペイン語A I	1	1						○		◎					
		スペイン語A II	1	1						○		◎					
		スペイン語B I	1	1						○		◎					
		スペイン語B II	1	1						○		◎					
		スペイン語演習 I	2	2						○		◎					
	スペイン語演習 II	2	2						○		◎						
	中国語	中国語A I	1	1						○		◎					
		中国語A II	1	1						○		◎					
		中国語B I	1	1						○		◎					
		中国語B II	1	1						○		◎					
		中国語演習 I	2	2						○		◎					
	中国語演習 II	2	2						○		◎						
	韓国語	韓国語A I	1	1						○		◎					
		韓国語A II	1	1						○		◎					
		韓国語B I	1	1						○		◎					
		韓国語B II	1	1						○		◎					
		韓国語演習 I	2	2						○		◎					
韓国語演習 II	2	2						○		◎							
タイ語	タイ語A I	1	1						○		◎						
	タイ語A II	1	1						○		◎						
	タイ語B I	1	1						○		◎						
	タイ語B II	1	1						○		◎						
	タイ語演習 I	2	2						○		◎						
タイ語演習 II	2	2						○		◎							
日本語	日本語A I	1	1						○		◎						
	日本語A II	1	1						○		◎						
	日本語B I	1	1						○		◎						
	日本語B II	1	1						○		◎						
	日本語A III	1	2						○		◎						
	日本語A IV	1	2						○		◎						
	日本語B III	1	2						○		◎						
日本語B IV	1	2						○		◎							

科目区分		授業科目	単位数	履修開始 年次	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	(DP7)	(DP8)	(DP9)	(DP10)	(DP11)
研究方法・表現実践科目群	情報リテラシー科目	アルゴリズム実習Ⅰ	1	3				○					◎		○
		アルゴリズム実習Ⅱ	1	3				○					◎		○
		専門情報リテラシー	2	1				○					◎		○
		ネットワーク技術Ⅰ	2	1				○					◎		○
		ネットワーク技術Ⅱ	2	1				○					◎		○
		ネットワーク技術Ⅲ	2	1				○					◎		○
		ネットワーク技術Ⅳ	2	3				○					◎		○
		プログラミング実習Ⅰ	1	1				○					◎		○
		プログラミング実習Ⅱ	1	1				○					◎		○
		ICT統計解析Ⅰ	2	1				○					◎		○
		ICT統計解析Ⅱ	2	1				○					◎		○
		ICTデータベースⅠ	2	1				○					◎		○
		ICTデータベースⅡ	2	1				○					◎		○
		ICTメディア編集Ⅰ	2	1				○					◎		○
		ICTメディア編集Ⅱ	2	1				○					◎		○
		ICTアプリ開発Ⅰ	2	1				○					◎		○
		ICTアプリ開発Ⅱ	2	1				○					◎		○
		ICTコンテンツデザインⅠ	2	1				○					◎		○
		ICTコンテンツデザインⅡ	2	1				○					◎		○
		ICT総合実践Ⅰ	2	1				○					◎		○
	ICT総合実践Ⅱ	2	1				○					◎		○	
	日本語表現科目	日本語表現Ⅰ	2	1				○					◎		○
		日本語表現Ⅱ	2	1				○					◎		○
	クリエイション科目	演劇学	2	1				○					◎		○
		音楽論	2	1				○					◎		○
		クリエイティブ・コミュニケーション	2	1				○					◎		○
		美学・芸術学	2	1				○					◎		○
		身体コミュニケーションA	2	2				○					◎		○
		身体コミュニケーションB	2	2				○					◎		○
		メディア・アート	2	2				○					◎		○
		デジタルアートA	2	3				○					◎		○
		デジタルアートB	2	3				○					◎		○
		デジタルプレゼンテーション	2	3				○					◎		○
		非言語コミュニケーション	2	3				○					◎		○
		メディア教育論	2	3				○					◎		○
	リサーチリテラシー科目	科学リテラシー	2	1				○					◎		○
		数理リテラシー	2	1				○					◎		○
		統計学A	2	1				○					◎		○
		統計学B	2	1				○					◎		○
		論理リテラシー	2	1				○					◎		○
		社会調査法A	2	2				○					◎		○
		社会調査法B	2	2				○					◎		○
		質的調査分析法	2	3				○					◎		○
		社会調査実習	2	3				○					◎		○
		データ解析論Ⅰ	2	3				○					◎		○
		データ解析論Ⅱ	2	3				○					◎		○
		海外留学科目群	国際交流	2	1							◎		○	
留学関係科目(語学・実習)A			1	1							◎		○		◎
留学関係科目(語学・実習)B	2		1							◎		○		◎	
留学関係科目(講義)A	2		1							◎		○		◎	
留学関係科目(講義)B	3		1							◎		○		◎	
ウェルネス科目群	ウェルネスA	2	1											◎	
	ウェルネスB	2	1											◎	
	ウェルネス・スポーツA	1	2											◎	
	ウェルネス・スポーツB	1	2											◎	
	ウェルネス・スポーツC	1	3											◎	
キャリアデザイン科目群	ウェルネス・スポーツD	1	3											◎	
	キャリアデザイン	2	1			○					○		○	◎	
	インターンシップ入門	2	2			○					○		○	◎	
情報リテラシー科目群	実践キャリア支援講座	2	3			○					○		○	◎	
	ICTベーシックⅠ	2	1										○	◎	
総合講座	ICTベーシックⅡ	2	1										○	◎	
	総合講座A	2	1		◎									◎	
	総合講座B	2	1		◎									◎	
	総合講座C	2	1		◎									◎	
		総合講座D	2	1		◎								◎	

Ⅱ 2017年度から 2020年度入学者カリキュラム

- ・ 設置科目一覧表
- ・ 卒業・進級・卒業見込に必要な単位
- ・ 科目別注意事項

2017年度から2020年度入学者 設置科目一覧表

	各分野最低 必要単位	1年次		2年次		3年次		4年次		
		科目名		科目名		科目名		科目名		
ゼミナール科目群	-	基礎ゼミナール		問題発見テーマ演習A・B		問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ		問題解決ゼミナールⅠ・Ⅱ		
学際科目群	入門 4単位	情報コミュニケーション学入門A・B				情報コミュニケーション学				
専門科目群	社会科学から 4単位 人文科学から 4単位 自然科学から 2単位 これらを含め 専門科目から 64単位	社会科学	環境と社会 ジェンダー論 情報社会と経済 犯罪と法Ⅰ・Ⅱ メディア・リテラシー	経営学 市民社会と法Ⅰ・Ⅱ 情報倫理 法学	憲法 社会学A・B 政治学 マクロ経済学	コミュニティ論 社会心理学A・B 組織論 ミクロ経済学				
		人文科学	異文化コミュニケーション史 異文化理解	英語文学A・B ※2018年度以前入学者は「英米文学」 小集団コミュニケーション	外国文学 新興国事情 地誌学 日本史概論A・B メディア批評					
		自然科学	科学技術史 人類学A・B	環境生物学 地球環境科学	情報科学 脳科学					
		社会システム	NPO論 公共政策A・B ジェンダーと法Ⅰ・Ⅱ 情報システム論 政策過程論 紛争解決システム論Ⅰ・Ⅱ	家族と法Ⅰ・Ⅱ コーポレート・ガバナンスⅠ・Ⅱ ジェンダー・マネジメントⅠ・Ⅱ 情報社会論A・B 政治とメディア 法と社会科学Ⅰ・Ⅱ	行政法と行政過程Ⅰ・Ⅱ 国際開発協力論 社会思想史 情報政策論Ⅰ・Ⅱ ソーシャルビジネス論 マスコミュニケーション論A・B	金融システム論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉学A・B 情報法A・B 組織と情報 メディアの歴史	現代型犯罪と刑法Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 少年犯罪と法 人権政策 知的財産法Ⅰ・Ⅱ メディア論	現代政治学Ⅰ・Ⅱ 財産と法Ⅰ・Ⅱ 情報産業論 人権と憲法Ⅰ・Ⅱ ビジネスと法A・B		
		文化と表象	アート・マネジメント 経済思想史 社会文化史A・B スポーツ・ジャーナリズム論 比較文学・比較文化AⅠ・AⅡ	英語の文化と歴史 言語態研究 情報社会と教育A・B 造形表現論 比較文学・比較文化BⅠ・BⅡ	映像表現論 言語表現論 情報社会と芸術 多文化と相互理解Ⅰ・Ⅱ ユニバーサルデザイン	音楽表現論 広告論 情報社会と出版 地域文化論A～D 倫理学	記号論 ジェンダーと社会Ⅰ・Ⅱ 情報デザイン論 地域文化論(英語圏)A・B	近・現代史Ⅰ・Ⅱ ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ 情報文化論 日本文化論A・B		
人間と環境	意思決定論Ⅰ・Ⅱ 自然地理学 身体と意識 都市情報論 不思議現象の心理学	異文化間コミュニケーション 消費行動の心理学 身体表現論 人間性心理学 法コミュニケーション	科学技術と人間 情報社会と安全A・B 人文地理学 認知科学Ⅰ・Ⅱ リスク社会論	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 情報と経済行動 生命思想史Ⅰ・Ⅱ ネットワーク社会学	環境政策Ⅰ・Ⅱ 情報と職業 組織コミュニケーションA・B パーソナリティ心理学	コミュニケーション思想史 人口論 談話コミュニケーションⅠ・Ⅱ 不確実性下の人間行動				
外国語科目群	6 4※	English Skills AⅠ・Ⅱ(基礎 中級 上級) English Skills BⅠ・Ⅱ(基礎 中級 上級) Speech & DebateⅠ・Ⅱ		Critical Reading Critical WritingⅠ・Ⅱ	Critical Discussion	English SeminarⅠ・Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 英語音声学				
		ドイツ語AⅠ・Ⅱ フランス語AⅠ・Ⅱ スペイン語AⅠ・Ⅱ 中国語AⅠ・Ⅱ 韓国語AⅠ・Ⅱ タイ語AⅠ・Ⅱ 日本語AⅠ・Ⅱ	ドイツ語BⅠ・Ⅱ フランス語BⅠ・Ⅱ スペイン語BⅠ・Ⅱ 中国語BⅠ・Ⅱ 韓国語BⅠ・Ⅱ タイ語BⅠ・Ⅱ 日本語BⅠ・Ⅱ	ドイツ語AⅢ・Ⅳ フランス語AⅢ・Ⅳ スペイン語AⅢ・Ⅳ 中国語AⅢ・Ⅳ 韓国語AⅢ・Ⅳ タイ語AⅢ・Ⅳ 日本語AⅢ・Ⅳ	ドイツ語BⅢ・Ⅳ フランス語BⅢ・Ⅳ スペイン語BⅢ・Ⅳ 中国語BⅢ・Ⅳ 韓国語BⅢ・Ⅳ タイ語BⅢ・Ⅳ 日本語BⅢ・Ⅳ					
		(情報リテラシー科目) ICTアプリ開発Ⅰ・Ⅱ ICTコンテンツデザインⅠ・Ⅱ ICT統計解析Ⅰ・Ⅱ 専門情報リテラシー		ICT総合実践Ⅰ・Ⅱ ネットワーク技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	ICTデータベースⅠ・Ⅱ プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ	アルゴリズム実習Ⅰ・Ⅱ ネットワーク技術Ⅳ				
		(日本語表現科目) 日本語表現Ⅰ・Ⅱ		(クリエイション科目) 演劇学 音楽論 身体コミュニケーションA・B メディア・アート		デジタルアートⅠ・Ⅱ メディア教育論	デジタルプレゼンテーション 非言語コミュニケーション			
研究方法・表現実践科目群	10	(リサーチリテラシー科目) 科学リテラシー 統計学A・B		数理リテラシー 論理リテラシー	社会調査法A・B	社会調査実習 質的調査分析法 データ解析論Ⅰ・Ⅱ				
海外留学科目群	-	国際交流		留学関係科目(語学・実習)A	留学関係科目(語学・実習)B	留学関係科目(講義)A	留学関係科目(講義)B			
その他	ウェルネス科目群	-	ウェルネスA・B		ウェルネス・スポーツA・B		ウェルネス・スポーツC・D			
	キャリアデザイン科目群	-	キャリアデザイン		インターンシップ入門		実践キャリア支援講座 ※2023年度以前「インターンシップ」			
	情報リテラシー科目群	-	ICTベーシックⅠ・Ⅱ							
	総合講座	-					総合講座A～D			
	国際教育プログラム科目	-					基幹科目(異文化理解)Ⅰ・Ⅱ——基幹科目(文化・歴史)Ⅰ・Ⅱ——基幹科目(法律・政治)Ⅰ・Ⅱ——基幹科目(経済)Ⅰ・Ⅱ ※2023年度より廃止			
総単位	124	※ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語の中から1か国語(ただし、外国人留学生については日本語)を選択								

卒業・進級・卒業見込に必要な単位（2017年度から2020年度入学者用）

情報コミュニケーション学部では、原則として4年以上在学し、下表に示された単位を修得した者に、学士（情報コミュニケーション学）の学位が授与される。

科目区分		最低修得 単位数		内訳（要件等）
学際科目群		4 (必修)		情報コミュニケーション学入門を2科目4単位修得しなければならない。
専門科目群	社会科学	4	54	社会科学から4単位、人文科学から4単位、自然科学から2単位を含め、64単位以上を修得しなければならない。
	人文科学	4		
	自然科学	2		
	社会システム			
	文化と表象			
	人間と環境			
外国語科目群		10		英語（English Seminar I・II、英語コミュニケーションI・II及び英語音声学は含めない。）を6単位以上、ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語の中から1か国語（ただし、外国人留学生については日本語）を選択し、4単位以上を修得しなければならない。
研究方法・表現実践科目群		10		10単位以上を修得しなければならない。
自由に選択できる科目		36		<p>次から単位修得すること。</p> <p>※ 学部設置科目において最低修得単位数を超えた単位数は自動的に「自由に選択できる科目」の修得単位数となる。</p> <p>※ 学部設置科目外の卒業単位認定科目（下記参照）について40単位まで認められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学部間共通外国語科目 2 他学部履修科目 3 留学生共通日本語科目 4 国際協力人材育成プログラム科目 5 日本ASEAN相互理解プログラム科目 6 グローバル人材育成プログラム科目 <p>（4・5・6について認められるのは16単位まで）</p> <p>※ 編入などの場合には40単位を超えて認定する場合がある。</p> <p>※ 資格課程開講科目は卒業単位認定科目に含めることができない。</p>
合計		124 (必修 4)		

【進級条件】（2年次終了時に、次の条件を満たしていないと3年次に進級することができない。）

2年次終了までに卒業要件内単位のうち40単位以上修得すること。

【卒業見込】

4年次に在籍し、3年次終了時に卒業要件内単位のうち76単位以上修得している者は、卒業見込み者として認定する（希望により、卒業見込証明書を発行する）。

【卒業のための付加条件】

4年次においては、8単位以上修得しなければならない。

【メディア授業科目の算入】

メディア授業科目を履修し修得した単位は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち60単位を超えないものとする。毎年度の授業計画により、授業の実施方法を変更することがあるため、メディア授業科目の対象科目及び履修上の注意事項は必ず各年度の各シラバスを参照すること。

科目別注意事項

ゼミナール科目群

- ・各ゼミ担当教員の授業内容を十分に理解すること。
- ・履修手続き・注意事項等や履修スケジュールをよく確認し間違いのないように申し込むこと。
- ・履修が決定したゼミナール科目は履修変更できない。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	基礎ゼミナール	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎ゼミナールは通年4単位で行う。 ・履修登録時の単位数は春・秋学期にそれぞれ2単位ずつで計算すること。 ・成績評価は秋学期終了後となる。 ・履修登録方法は1年生履修ガイダンス動画を確認すること。
2	問題発見テーマ演習A 問題発見テーマ演習B	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見テーマ演習は半期開講科目とする。 ・WEB履修登録（抽選Ⅰ）の期間に申込できるのは、A・B各1コマのみ。多く申込んだ場合、問題発見テーマ演習A・Bの申込が全て削除されるため注意すること。 ・抽選Ⅰの登録で定員に満たなかったクラスについては、WEB履修登録（抽選Ⅱ）以降の期間に追加登録を受け付ける。A・Bとも各2コマまで履修可能。 ・履修登録方法は2年生履修ガイダンス資料を確認すること。
3 4	問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ 問題解決ゼミナールⅠ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の11月以降に入室試験を行う。 詳細については、6～7月にOh-o!Meijiからお知らせを配信する。 ・入室決定者は、翌年4月に大学側で履修登録を行う。 ・原則として履修の取消しはできない。

学際科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	情報コミュニケーション学入門A 情報コミュニケーション学入門B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回異なる教員により、オムニバス形式で授業を行う。 ・1年次の履修 <ul style="list-style-type: none"> ①大学側で履修登録を行う。 ②1年次春・秋学期にA・B各1コマずつ履修をする。 ・2～4年次の履修（再履修） 大学側で再履修科目の登録を行う。
3	情報コミュニケーション学	<ul style="list-style-type: none"> ・分野の異なる複数クラスを開講する。コーディネーターが異なれば、重複して履修登録することができる。

専門科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	市民社会と法Ⅰ 市民社会と法Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民社会と法Ⅱ」「犯罪と法Ⅱ」の履修には、それぞれのⅠを履修中または修得済であることが必要である。 Ⅰの単位を修得できなかった場合、Ⅱの履修は秋学期授業開始前に削除される。
	犯罪と法Ⅰ 犯罪と法Ⅱ	
	ジェンダー論	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で実施するクラスと英語で実施するクラスがある。 両方とも履修することが可能。
	英語文学A 英語文学B	<ul style="list-style-type: none"> ・2017・2018年度入学者は「英語文学A」または「英語文学B」のどちらか一方のみを「英米文学」として履修することができる。
3	家族と法Ⅰ・Ⅱ 行政法と行政過程Ⅰ・Ⅱ 金融システム論Ⅰ・Ⅱ 現代型犯罪と刑法Ⅰ・Ⅱ 現代政治学Ⅰ・Ⅱ コーポレート・ガバナンスⅠ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 財産と法Ⅰ・Ⅱ ジェンダーと法Ⅰ・Ⅱ ジェンダー・マネジメントⅠ・Ⅱ 情報政策論Ⅰ・Ⅱ 人権と憲法Ⅰ・Ⅱ 知的財産法Ⅰ・Ⅱ 紛争解決システム論Ⅰ・Ⅱ 法と社会科学Ⅰ・Ⅱ 近・現代史Ⅰ・Ⅱ ジェンダーと社会Ⅰ・Ⅱ ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ 多文化と相互理解Ⅰ・Ⅱ 比較文学・比較文化AⅠ・AⅡ 比較文学・比較文化BⅠ・BⅡ 意思決定論Ⅰ・Ⅱ 家族社会学Ⅰ・Ⅱ 環境政策Ⅰ・Ⅱ 生命思想史Ⅰ・Ⅱ 談話コミュニケーションⅠ・Ⅱ 認知科学Ⅰ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱの履修には、それぞれⅠの履修または修得が必要である。 Ⅰの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にⅡの履修を大学側で削除する。
	映像表現論（映像制作） 映像表現論（編集スキル）	<ul style="list-style-type: none"> ・「映像表現論（映像制作）、（編集スキル）」については履修申込にあたり、事前課題を設ける。 Oh-o!Meiji のアンケートにて申込をすること。

外国語科目群

- ・履修クラスを指定する科目について
 - ①大学側で履修登録を行う。
 - ②原則、他のクラスへの変更はできない。
- ・外国語は半期1単位で開講される。(英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、英語音声学は1コマ2単位)

英語

- ・英語科目は段階履修ではない。(英語コミュニケーションⅠ・Ⅱを除く)
- ・English Skills について
 - ①「A」は会話・コミュニケーションを中心とし、「B」は講読・文法を中心とする。
 - ②「A」「B」は同時並行で履修する。ただし、いずれかが未履修となった場合はこの限りではない。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	English Skills AⅠ・AⅡ English Skills BⅠ・BⅡ	<p><1～2年生の履修について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修希望者は、Oh-o!Meiji から再履修登録についてのお知らせを確認し、所定の期間に手続きをとること。 <p><3～4年生の履修について></p> <p>【和泉開講科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉開講科目の履修希望者は、所定の期間に情報コミュニケーション学部事務室(駿河台)で手続きをとること。 <p>【駿河台開講科目(再履修用コマ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB履修登録(抽選)の際は、Oh-o!Meiji から履修の必要な科目名をひとつ選び申請すること。
2	Critical Reading Critical Discussion	<p><2年生の履修について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修クラスを指定する。 TOEIC(秋学期実施)のスコアにより、達成度別(中級・上級)にクラス編成を行う。 ・Critical Reading / Critical Discussion の各1クラスをSPICE対象クラスとする。 ・Critical Reading と Critical Discussion は春・秋学期に分けて履修する。 <p>【例】春学期:Critical Reading—秋学期:Critical Discussion 春学期:Critical Discussion—秋学期:Critical Reading</p> <p><3～4年生の履修について></p> <p>【和泉開講科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉開講科目の履修希望者は、所定の期間に情報コミュニケーション学部事務室(駿河台)で手続きをとること。 <p>【駿河台開講科目(再履修用コマ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB履修登録(抽選)の際は、Oh-o!Meiji から履修の必要な科目をひとつ選び申請すること。
1	Speech & Debate Ⅰ Speech & Debate Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・1クラス20名程度の少人数で会話中心の授業を行う。毎回予習・復習など綿密な学習を必要とする授業の中で、英語能力のレベルアップを目指す。 ・英語でコミュニケーションしたい学生、留学を考えている学生は積極的に履修することを奨める。 ・配付されている時間割は、2021年度以降入学者用のカリキュラム名で表記されている。「カリキュラム別の科目読み替え表」(P.21～22)のとおり、自分のカリキュラムに読み替えて履修登録をすること。

2	Critical Writing I Critical Writing II	<ul style="list-style-type: none"> 1クラス20名程度の少人数でパラグラフライティングから始まり、トピックセンテンスの書き方、アイデアの発展から結論までの書き方を学ぶ。 基礎をしっかりと身につけ、エッセイライティングにも挑戦する。文献の探し方や引用方法についてもあわせて学んでいく。 Critical Writing I・IIの各1クラスをSPICE対象クラスとする。SPICEクラスの履修登録は大学側で行う。
3	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	<ul style="list-style-type: none"> この科目はSPICEプログラム履修者専用のクラスと、通常のクラスの2クラスが開講される。いずれか1つのみ履修できる。 IIの履修には、それぞれIの履修または修得が必要である。Iの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にIIの履修を大学側で削除する。 【SPICE専用クラスについて】 SPICEプログラム履修者専用の科目は、WEB履修では登録できない。 特に辞退の申し出がない場合、継続するものとして大学側で履修登録を行う。

SPICE（英語特別クラス）について

— Special Program for Information & Communication in English —

20人程度の少人数選抜クラスで、英語でコミュニケーションができる学生を養成する。

- 定員
20名程度（募集は1年次春のみ、再募集は行わない。）
- 受講・継続条件
 - SPICE要件科目で、B評価以上の成績を修めた場合、プログラム修了要件単位として認める。
 - SPICE要件科目のうち、基幹科目の成績がC評価以下になった場合、次学期以降SPICEクラス専用科目を受講することができない。
 - TOEICおよびTOEFLを毎年度それぞれ1回ずつ必ず受験すること。
 - 特に申し出がない場合、2年次以降もプログラムを継続するものとする。
- 修了要件
プログラム修了には、卒業までに基幹科目から16単位、実践科目から12単位の計28単位の修得を必要とする。修了は所定単位の修得のみを条件とする。
(3年次終了時にすべての要件を修得した場合、その時点でプログラム修了が可能となる。)
- 修了証の授与
修了者には、「SPICEプログラム修了証明書」を授与する。
修了時に、TOEFL-iBT 100点以上、もしくはTOEIC 840点以上を取得した学生には、優等修了証(Certificate with distinction)を授与する。

●要件科目一覧

科目区分	配当年次 必修区分	必要 単位数	科目名	単位数	備考
基幹科目	1年次必修	6単位	English Skills A I (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			English Skills A II (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			English Skills B I (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			English Skills B II (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			Speech & Debate I	1	一般科目
			Speech & Debate II	1	一般科目
	2年次必修	4単位	Critical Reading (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			Critical Discussion (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			Critical Writing I (SPICE)	1	プログラム専用クラス
			Critical Writing II (SPICE)	1	プログラム専用クラス
	3年次必修	6単位	English Seminar I	1	一般科目
			English Seminar II	1	一般科目
英語コミュニケーション I			2	プログラム専用クラス	
英語コミュニケーション II			2	プログラム専用クラス	

2017年度から2020年度入学者

実践科目	1～4年次 選択必修	12単位	<p>★情コミ学部主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で行われる情コミ学部科目※ ・国際交流（短期留学科目） <p>★情コミ学部以外主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で行われる他学部科目 ・他学部設置短期留学科目（英語圏） ・国際教育センター主催短期海外留学科目（英語圏） （※単位化されているもののみ） ・以下のプログラムのうち、英語で行われる科目 <ul style="list-style-type: none"> 学部間共通外国語講座 国際教育プログラム科目 国際協力人材育成プログラム グローバル人材育成プログラム 日本ASEAN相互理解プログラム 	-	<p>※「英語で行われる情コミ学部科目」は以下のとおり。（当年度開講科目は、各自時間割表を確認すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー論 ・パブリック・スピーキング ・英語音声学 ・比較文化（基礎） A・B ・英語の文化と歴史 ・比較文学・比較文化 A I・A II <p>※Oh-o!Meijiのクラスウェブ内シラバスの「授業言語」が「英語」となっている科目が対象です。</p>
	合計	28単位			

ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語

- ・母国語を選択することはできない。
- ・外国人留学生は、選択する1言語を日本語とする。
- ・段階履修について
 - 各言語ⅠからⅡまで段階履修とする。
 - 前グレードの単位を修得できなかった場合、履修予定の科目は授業開始前に削除される。
- 【例】春学期：フランス語AⅠ未修得 → 秋学期：フランス語AⅡ削除
- ・ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語について
 - ①「A」は会話・コミュニケーションを中心とし、「B」は講読・文法を中心とする。
 - ②「A」「B」は同時並行で履修する。ただし、いずれかが未修得となった場合はこの限りではない。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	ドイツ語 AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ 韓国語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ タイ語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・履修クラスを指定する。 入学手続き時の履修希望（第1～第3希望）によりクラス編成を行う。 <p><3～4年生の履修について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の期間に情報コミュニケーション学部事務室（駿河台）で説明を受けて、手続きをとること。
2	ドイツ語演習Ⅰ・Ⅱ フランス語演習Ⅰ・Ⅱ スペイン語演習Ⅰ・Ⅱ 中国語演習Ⅰ・Ⅱ 韓国語演習Ⅰ・Ⅱ タイ語演習Ⅰ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の各語学演習の履修希望者は、1年次に同語学必修を履修していない場合、当該語学1年次必修修了と同等の語学力を有することが望ましい。語学力の目安は以下のとおり。 【ドイツ語】ドイツ語検定（独検）4級程度 【フランス語】フランス語検定（仏検）4級程度 【スペイン語】DELE スペイン語検定（インスティトゥット・セルバンテス）A2またはスペイン語検定（日本スペイン協会）4級程度 【中国語】中国語検定4級程度 【韓国語】ハングル検定4級程度 【タイ語】実用タイ語検定5級程度 ・修得した単位は、「自由に選択できる科目」の単位数に算入される。

日本語（外国人留学生のみ）

- 留学生共通日本語「日本語（上級）シラバス」（WEB）を参照すること。
https://www.meiji.ac.jp/cip/student_support/japanese/jmenu.html
- ・外国人留学生は、選択する1言語を日本語とする。
 - ・履修クラスを指定する（全学部共通クラス）。
 - ・日本語は段階履修としない。



履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	日本語AⅠ・AⅡ	読解
	日本語BⅠ・BⅡ	作文
2	日本語AⅢ・AⅣ	速読
	日本語BⅢ・BⅣ	精読

再履修		
再履修科目の登録方法については、各期間の成績公開後、別途案内する。		
履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1・2	英語科目	<ul style="list-style-type: none"> 再履修科目を設置しない。 段階履修ではないため、春学期履修科目が未修得の場合も秋学期科目を履修する。
1	ドイツ語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ 韓国語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ タイ語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ	<ul style="list-style-type: none"> 再履修科目を設置しない。 1年次春学期にⅠを未修得の場合、2年次春学期に再度履修する。
1	日本語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ	<ul style="list-style-type: none"> 再履修科目を設置しない。 1年次春学期にⅠを未修得の場合も、1年次秋学期にⅡを続けて履修する。 1年次春学期で未修得となったⅠの科目は、2年次春学期に再度履修する。

研究方法・表現実践科目群

情報リテラシー科目		
『情報関係科目 実力確認テスト』（WEB）を受験し、診断結果を確認のうえ情報リテラシー科目選択の参考にすること。詳細は、「情報関係科目シラバス」（WEB）を参照すること。 https://www.meiji.ac.jp/edu-info/about_ict.html 		
履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	ネットワーク技術Ⅰ ネットワーク技術Ⅱ ネットワーク技術Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 初歩的なコンピュータ操作技能をもった者を対象とする。パソコンの操作に不慣れな者は、ICT科目・各種講習会などでスキルアップしたのち履修することが望ましい。 段階履修について <ol style="list-style-type: none"> ⅠからⅣまで段階履修とする。 ⅡからⅣの履修は前グレードの修得が条件となる。 前グレードの単位を修得できなかった場合、履修予定の科目は授業開始前に削除される。 <p>【例】 春学期：ネットワーク技術Ⅱ未修得 →秋学期：ネットワーク技術Ⅲ削除</p> 【注】 ネットワーク技術Ⅱ（春学期開講）の履修はⅠの修得が条件のため、1年次に履修することができない。
3	ネットワーク技術Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> セット履修について <ol style="list-style-type: none"> Ⅱ・Ⅲはセットで履修する。 WEB履修登録の際はⅡのみ申込みこと。Ⅱの履修が確定した場合、Ⅲの登録は大学側で行う。 ネットワーク技術士資格を目指す者は、1年次に「ネットワーク技術Ⅰ」を履修すること。
1	プログラミング実習Ⅰ プログラミング実習Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 半期1単位で授業を行う。 セット履修について <ol style="list-style-type: none"> Ⅰ・Ⅱをセットで履修する。 WEB履修登録の際はⅠのみ申込みこと。 Ⅰの履修が確定した場合、Ⅱの登録は大学側で行う。 段階履修について <ol style="list-style-type: none"> ⅠからⅡを段階履修とする。 Ⅱの履修はⅠの修得が条件となる。 Ⅰの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にⅡの履修は削除される。 アルゴリズム実習の履修は、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱの修得が条件となる。
3	アルゴリズム実習Ⅰ アルゴリズム実習Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズム実習の履修は、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱの修得が条件となる。 Ⅱの履修には、それぞれⅠの履修または修得が必要である。Ⅰの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にⅡの履修を大学側で削除する。

2017年度から2020年度入学者

1	専門情報リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ICTベーシック修了程度のレベルを必要とする。 () 内のテーマが異なる科目は複数履修することができる。
1	ICT科目	<p>「情報関係科目シラバス」(WEB)を参照し履修手続を行うこと。 (前頁のURLもしくはQRコードから閲覧可能。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ICTベーシック」は、研究方法・表現実践科目に含まれない。修得した単位は「自由に選択できる科目」に含まれる。 <p><ICTとは…> ICT (Information and Communication Technology) とは「情報通信技術」のことで、情報や通信に関する技術の総称です。情報関係科目では時代に即したICT活用能力の習得と、学部の専門科目においてICTスキルの活用ができる能力を養うことができます。</p>

情報関係科目 『実力確認テスト』診断基準

得点	推奨科目
60～85点	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、ICTベーシックⅠ・Ⅱ(※)
90～120点	専門情報リテラシー、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、ICT統計解析Ⅰ・Ⅱ、ICTデータベースⅠ・Ⅱ、ICTメディア編集Ⅰ・Ⅱ、ICTアプリ開発Ⅰ・Ⅱ、ICTコンテンツデザインⅠ・Ⅱ
125～135点	専門情報リテラシー、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、ICT統計解析Ⅰ・Ⅱ、ICTデータベースⅠ・Ⅱ、ICTメディア編集Ⅰ・Ⅱ、ICTアプリ開発Ⅰ・Ⅱ、ICTコンテンツデザインⅠ・Ⅱ
140点以上	専門情報リテラシー、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ、ICT総合実践Ⅰ・Ⅱ

※「ICTベーシックⅠ・Ⅱ」は、「研究方法・表現実践科目群」に含まれない。

情報リテラシー科目群の段階履修一覧

科目名	前提科目	条件	備考
ICT科目Ⅱ	ICT科目Ⅰ	単位修得	
ネットワーク技術Ⅱ～Ⅳ	ネットワーク技術Ⅰ～Ⅲ	単位修得	ネットワーク技術士
プログラミング実習Ⅱ	プログラミング実習Ⅰ	単位修得	
アルゴリズム実習Ⅰ	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ	単位修得	
アルゴリズム実習Ⅱ	アルゴリズム実習Ⅰ	単位修得	

情報リテラシー科目群の関連資格一覧

科目名	資格	備考
情報リテラシー科目群全般	ITパスポート	
ネットワーク技術Ⅰ～Ⅳ	CCNA (Cisco Certified Network Associate)	ネットワーク技術士

上記科目を修了すると、各資格を取得するレベルの実力が付くことになる。

※資格取得は、科目の修得のみでは得られません。

日本語表現科目

この科目は、日本語の適切な活用を可能にするための演習科目です。大学生が社会に出る際も、認識や思考や感受性の定着を的確に行うため、日本語の使用能力の向上は欠かせません。

改めて日本語を学ぶことで、新しい発見や自信が身につく授業です。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> セット履修について <ol style="list-style-type: none"> Ⅰ・Ⅱをセットで履修する。 WEB履修登録の際はⅠのみ申込みこと。 履修が確定した場合、Ⅱの登録は大学側で行う。 段階履修について <ol style="list-style-type: none"> ⅠからⅡを段階履修とする。 Ⅱの履修はⅠの修得が条件となる。 Ⅰの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にⅡの履修を大学側で削除する。

2017年度から2020年度入学者

クリエイション科目		
履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	クリエイティブ・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> WEB履修登録（抽選Ⅰ）の期間に申込できるのは、通年で1コマのみ。多く申し込んだ場合、クリエイティブ・コミュニケーションの申込が全て削除されるため注意すること。 抽選Ⅰの登録で定員に満たなかったクラスについては、WEB履修登録（抽選Ⅱ）以降の期間に追加登録を受け付ける。（ ）内のテーマが異なる科目であれば複数履修可能。
2	身体コミュニケーションA 身体コミュニケーションB	<ul style="list-style-type: none"> 和泉キャンパス開講の身体コミュニケーションA、身体コミュニケーションBは、同一年度ではどちらか一方しか履修することができない。 A・BいずれもWEB履修登録（抽選Ⅰ）の期間に申込むこと。ただし、A・Bの両方を申し込んだ場合には両方とも履修が削除されるため、注意すること。
3	デジタルアートⅠ デジタルアートⅡ	<ul style="list-style-type: none"> 複数クラス開講するが、いずれか1つのみ履修できる。担当教員により授業内容が異なるため、授業概要をよく確認すること。また、Ⅰ・Ⅱは同一教員の授業を履修すること。 Ⅱの履修には、それぞれのⅠを履修中または修得済であることが必要である。 Ⅰの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にⅡの履修を大学側で削除する。
	デジタルプレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 複数クラス開講するが、いずれか1つのみ履修できる。
	メディア教育論	<ul style="list-style-type: none"> 複数クラス開講するが、いずれか1つのみ履修できる。 担当教員により授業内容が異なるため、授業概要をよく確認すること。
リサーチリテラシー科目		
履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	統計学A 統計学B	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査士の資格取得に必要な科目である。 社会調査士の資格取得に関する詳細は、P.63を参照すること。
2	社会調査法A 社会調査法B	
3	社会調査実習	<ul style="list-style-type: none"> 春学期第1週目の授業にて履修者を決定する。履修希望者は必ず出席すること。 定員を超過した場合は、社会調査士の資格関連科目のGP順に選抜する。 この科目は、複数クラス開講するが、いずれか1つのみ履修できる。 履修登録時の単位数は春・秋学期にそれぞれ1単位ずつで計算する。

海外留学科目群

「国際交流」は（ ）内のテーマが異なり、日程上支障がない場合、複数回履修することができる。
 ※「世界のキャンパスから」を除く。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等	
1	国際交流	世界のキャンパスから	<ul style="list-style-type: none"> WEB履修登録期間（本登録）に履修登録を行う。 世界各地の研究者によるオムニバス授業となる。 履修上限単位数（半期24単位）に含む。
		メディア	<ul style="list-style-type: none"> 「国際交流」は（ ）内のテーマが異なり、日程上支障がない場合は複数回履修することができる。 履修が認められ、手続を行った者について、大学側が履修登録を行う。 履修上限単位数（半期24単位）を超えて履修することができる。
		タイ	
		イギリス	
—	留学関係科目	<ul style="list-style-type: none"> 協定留学及び認定留学をした学生が留学先大学で修得した単位を認定する際の科目である。 留学希望者は学部事務室にて詳細を確認すること。 	

ウェルネス科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	ウェルネスA ウェルネスB	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容は使用施設によって異なるため、授業概要をよく確認すること。 ・ウェルネスAは実技が中心、ウェルネスBは講義が中心となる。 ・受講にあたっては、当該年度の健康診断を必ず受診すること。 ・ウェルネスAは、和泉・駿河台キャンパスの両方で開講する。 ・体育施設利用には室内シューズが必要となる。
ウェルネス・スポーツA・B・C・D		
<ul style="list-style-type: none"> ・1コマ1単位の実習授業である。 ・他学部との乗り入れ科目となるため、他学部設置科目も申込みことができる。 ・科目名は、次のとおり。 ウェルネス・スポーツA：春学期（和泉）、学外集中（夏季） ウェルネス・スポーツB：秋学期（和泉）、学外集中（冬季） ウェルネス・スポーツC：春学期（駿河台）、学外集中（夏季） ウェルネス・スポーツD：秋学期（駿河台）、学外集中（冬季） <p>【注】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春学期開講科目と学外集中（夏季）科目、秋学期開講科目と学外集中（冬季）科目はそれぞれ同じ科目のため、履修できるのはどちらか一方のみ。 ・受講にあたっては、当該年度の健康診断を必ず受診すること。 ・学外集中（冬季）科目を2年次に履修した場合、修得した単位は進級条件の単位として算入されない。また、4年次に履修した場合、単位は認定されないため注意すること。 ・9月卒業対象者が学外集中（夏季）科目を履修した場合、卒業条件の単位として算入されない。 		
2	ウェルネス・スポーツA ウェルネス・スポーツB	<p>「選択体育実技パンフレット（和泉キャンパス）」（WEB）を参照すること。</p> <p><選択体育実技パンフレット（和泉キャンパス）の掲載場所> https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/index.html</p>  <p>※上記ページの「学部共通科目」の「選択体育実技（和泉キャンパス）」を確認すること。</p>
3	ウェルネス・スポーツC ウェルネス・スポーツD	<p>① 履修を希望する場合、春学期の第1週目の授業で履修者を決定する。 次頁の「選択体育実技一覧（駿河台キャンパス）」を参照のうえ、必ず出席すること。</p> <p>②秋学期の履修を希望する場合も、春学期の同一曜日・時限の第1週目の授業で履修者を決定するため、必ず出席すること。 ※授業内容は、科目主催学部のシラバスで確認すること。</p>

2025年度選択体育実技一覧
(駿河台キャンパス)

主催 学部	開講期	曜日	時限	場所※	学教科目名	種目	定員	担当教員			備考
								所属	資格	氏名	
法	春	木	2	ホール	スポーツ実習	フットサル	25	法	専任	釜崎 太	
	秋	木	3	ホール	スポーツ実習	フットサル	25	法	専任	釜崎 太	
政	春	火	3	ホール	運動学演習Ⅲ-1, IV-1	バレーボール	30	政経	兼任	中西 康己	
	秋	火	3	ホール	運動学演習Ⅲ-2, IV-2	バレーボール	30	政経	兼任	中西 康己	
	春	火	4	ホール	運動学演習Ⅲ-1, IV-1	バレーボール	30	政経	兼任	中西 康己	
	秋	火	4	ホール	運動学演習Ⅲ-2, IV-2	バレーボール	30	政経	兼任	中西 康己	
	春	金	3	ホール	運動学演習Ⅲ-1, IV-1	マルチスポーツ	30	政経	兼任	相澤 勝治	
	秋	金	3	ホール	運動学演習Ⅲ-2, IV-2	マルチスポーツ	30	政経	兼任	相澤 勝治	
	春	金	4	ホール	運動学演習Ⅲ-1, IV-1	マルチスポーツ	30	政経	兼任	相澤 勝治	
	秋	金	4	ホール	運動学演習Ⅲ-2, IV-2	マルチスポーツ	30	政経	兼任	相澤 勝治	
文	春	火	2	ルーム	生涯スポーツⅡ	卓球	24	文	兼任	出井 章雅	
	秋	火	2	ルーム	生涯スポーツⅡ	卓球	24	文	兼任	出井 章雅	
	春	火	4	ルーム	生涯スポーツⅡ	太極拳	30	文	兼任	劉 立凡	
	秋	火	4	ルーム	生涯スポーツⅡ	太極拳	30	文	兼任	劉 立凡	
	春	水	1	ホール	生涯スポーツⅡ	テニス	15	文	専任	田中 伸明	経験者対象
	秋	水	1	ホール	生涯スポーツⅡ	テニス	15	文	専任	田中 伸明	経験者対象
	春	水	2	ホール	生涯スポーツⅡ	テニス	15	文	専任	田中 伸明	経験者対象
	秋	水	2	ホール	生涯スポーツⅡ	テニス	15	文	専任	田中 伸明	経験者対象
情	春	金	1	ホール	ウェルネス・スポーツC	バレーボール	20	情コミ	兼任	奈良岡 佑南	
	秋	金	1	ホール	ウェルネス・スポーツD	バスケットボール	20	情コミ	兼任	奈良岡 佑南	
定員合計						春学期	249				
						秋学期	249				

※ ルーム:リバティタワー地下2階スポーツルーム
ホール:リバティタワー地下3階スポーツホール

【履修に際しての注意事項】

- 法学部、政治経済学部、文学部及び情報コミュニケーション学部の3・4年生を対象とした科目です。
- 所属学部により履修科目名が異なります。
法学部＝「スポーツ実習」
政治経済学部＝「運動学演習Ⅲ-1・2, IV-1・2」
文学部＝「生涯スポーツⅡ」
情報コミュニケーション学部＝「ウェルネス・スポーツC, D」
- 所属学部以外の学部が主催する科目も履修することができます。
※ 文学部主催科目は卒業に必要な必修科目として履修することはできません。
- 授業内容は科目主催学部のシラバスを確認してください。
- 履修を希望する者は、春学期の第1週目の授業で履修者を決定しますので、必ず出席して下さい。
※ 秋学期科目の履修を希望する者も春学期の同一曜日・時限の第1週目の授業に必ず出席して下さい。
- 履修希望者が定員を超えた場合は、以下の優先順位で抽選を行います。
(1) 科目主催学部の学生
(2) 科目主催学部以外の学生
- 政治経済学部の学生は、政治経済学部主催の秋学期科目についてのみ、秋学期の第1週目の授業で担当教員が認めた場合に限り、秋学期に履修を追加することができます。

キャリアデザイン科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 春・秋学期に各1コマ開講する。 ゲスト講師によるオムニバス形式で授業を行う。 自らのキャリアをデザインしていくための糸口を見つけることを目標としているため、1年次に受講することが望ましい。
2	インターンシップ入門	<ul style="list-style-type: none"> 春・秋学期に各1コマ開講する。 この科目は、グループワークなどを行い、ゲスト講師を招く講義もある。 「インターンシップ」の履修は、「インターンシップ入門」の修得が条件となる。
3	実践キャリア支援講座 ※旧「インターンシップ」	<ul style="list-style-type: none"> この科目は秋学期開講前まで履修者を募集する。 履修希望者は必ず期限内に申し込みすること。 履修を希望する場合は、当該授業時間に他の科目を予め履修登録しないこと。また、履修上限単位数も超過しないように留意すること。

情報リテラシー科目群

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	I C Tベーシック I I C Tベーシック II	<p>「情報関係科目シラバス」(WEB)を参照し履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/edu-info/about_ict.html</p>  <ul style="list-style-type: none"> I C Tベーシックは、研究方法・表現実践科目に含まれない。 I C T科目は段階履修のため、IIの履修はIの修得が条件となる。 Iの単位を修得できなかった場合、秋学期授業開始前にIIの履修は削除される。

総合講座

学部や文理の枠を越えた学際的な授業により、学問的視野を広げ、問題発見能力や判断力を養う。各分野で活躍するゲスト講師により、最先端のニュース等をテーマに取り上げている。

履修開始年次	科目名	履修手続き・注意事項等
1	総合講座A・B・C・D	<p>「全学共通総合講座シラバス」(WEB)を参照し履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/edu/zengaku/index.html</p>  <ul style="list-style-type: none"> 和泉キャンパス開講科目は、他の科目と履修日程が異なるため、特に注意すること。 科目名は、開講期・開講キャンパスによって次のとおり。 総合講座A：【春学期】和泉・生田・黒川農場・中野 総合講座B：【秋学期】和泉・生田・黒川農場・中野 総合講座C：【春学期】駿河台 総合講座D：【秋学期】駿河台 在学期間を通じて、総合講座A・B・C・Dを各2科目(4単位)計16単位まで履修することができる。修得した単位は、「自由に選択できる科目」として卒業単位に含まれる。 同じ科目名で複数キャンパスにて開講している場合があるため、履修登録の際は注意すること。

学部設置外科目の卒業単位認定科目

合計40単位を上限とし、「自由に選択できる科目」として卒業単位に認定する。

科目名	履修手続き・注意事項等
学部間共通外国語 (MLP)	<p>「学部間共通外国語シラバス」(WEB)を参照し履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/edu/foreign/jikan/syllabus.html</p>  <ul style="list-style-type: none"> 多面的な外国語能力を向上させるため、主にネイティブスピーカーの教員が担当する「会話」を中心とした科目や、学部では設置されていない外国語科目が設置されている。 他の科目と異なるルールがあるため注意すること。 修得した単位は、「自由に選択できる科目」として卒業単位に含まれる。 情コミ学部「外国語科目群」の科目として振替えることはできない。 夏期集中講座、春期集中講座は、半期24単位の履修上限を超えて履修することができる。 夏期集中講座を4年次に履修したもので、9月卒業を希望する場合、単位は認定されないため注意すること。 春期集中講座を2年次に履修した場合、修得した単位は進級条件の単位として算入されない。また、4年次に履修した場合、単位は認定されないため注意すること。
グローバル人材育成プログラム	<p>大学HPを参照し履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/globalcareer.html</p>  <p><2020年度入学者></p> <ul style="list-style-type: none"> 「グローバル人材育成プログラム」で修得した単位は、合計16単位まで「自由に選択できる科目」として卒業単位に含まれる。夏期集中講座を4年次に履修したもので、9月卒業を希望する場合、単位は認定されないため注意すること。
日本ASEAN相互理解プログラム <2017～2019年度入学者のみ>	<ul style="list-style-type: none"> 春期集中講座を2年次に履修した場合、修得した単位は進級条件の単位として算入されない。また、4年次に履修した場合、単位は認定されないため注意すること。 「グローバル人材育成プログラム」において長期休業期間中に海外留学を実施する科目は、履修上限単位数(半期24単位)を超えて履修することができる。 <p><2017～2019年度入学者></p>
国際協力人材育成プログラム <2017～2019年度入学者のみ>	<ul style="list-style-type: none"> 「グローバル人材育成プログラム」「日本ASEAN相互理解プログラム」「国際協力人材育成プログラム」で修得した単位は、合計16単位まで「自由に選択できる科目」として卒業単位に含まれる。夏期集中講座を4年次に履修したもので、9月卒業を希望する場合、単位は認定されないため注意すること。 春期集中講座を2年次に履修した場合、修得した単位は進級条件の単位として算入されない。また、4年次に履修した場合、単位は認定されないため注意すること。 「グローバル人材育成プログラム」及び「日本ASEAN相互理解プログラム」において休業期間中に海外留学を実施する科目は、履修上限単位数(半期24単位)を超えて履修することができる。
他学部履修科目	<ul style="list-style-type: none"> 「本登録期間」に履修登録を行う。 設置学部が履修を許可した科目について、履修することができる。履修の可否・授業内容・時間割については別途案内する。
留学生共通日本語	<ul style="list-style-type: none"> 日本語・留学生共通日本語「日本語(上級)シラバス」(WEB)を参照し、履修手続を行うこと。 https://www.meiji.ac.jp/cip/student_support/japanese/jmenu.html  <ul style="list-style-type: none"> 受講希望科目の第1回目の授業に必ず出席すること。

Ⅲ 2013年度から 2016年度入学者カリキュラム

- ・ 設置科目一覧表
- ・ 卒業・進級・卒業見込に必要な単位

2013年度から2016年度入学者 設置科目一覧表

		1年次	2年次	3年次	4年次	各分野最低 必要単位		
		科目名	科目名	科目名	科目名			
ゼミナール科目群		基礎ゼミナール		問題発見テーマ演習A・B	問題分析ゼミナールⅠ・Ⅱ 問題解決ゼミナールⅠ・Ⅱ	-		
基礎 教育 科目 部門	情報リテラシー科目群	ICTエレメンタリー ICTベーシックⅠ・Ⅱ ICT統計解析Ⅰ・Ⅱ ICTデータベースⅠ・Ⅱ ICTメディア編集Ⅰ・Ⅱ ICTアプリ開発Ⅰ・Ⅱ ICTコンテンツデザインⅠ・Ⅱ ICT総合実践Ⅰ・Ⅱ プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ ネットワーク技術Ⅰ	ネットワーク技術Ⅱ・Ⅲ	ネットワーク技術Ⅳ アルゴリズム実習Ⅰ・Ⅱ		4		
	ことばとコミュニケーション科目群	日本語表現A(作文)・B(文章理解) コミュニケーション基礎Ⅰ・Ⅱ	日本語表現C(口頭表現)・D(総合) コミュニケーション応用Ⅰ・Ⅱ	デジタルプレゼンテーション パブリックスピーキング 非言語コミュニケーション 談話コミュニケーションⅠ・Ⅱ		6		
	外国語科目群	English Skills AⅠ・Ⅱ(基礎 中級 上級) English Skills BⅠ・Ⅱ(基礎 中級 上級) Speech & DebateⅠ・Ⅱ ドイツ語AⅠ・Ⅱ ドイツ語BⅠ・Ⅱ フランス語AⅠ・Ⅱ フランス語BⅠ・Ⅱ スペイン語AⅠ・Ⅱ スペイン語BⅠ・Ⅱ 中国語AⅠ・Ⅱ 中国語BⅠ・Ⅱ 韓国語AⅠ・Ⅱ 韓国語BⅠ・Ⅱ タイ語AⅠ・Ⅱ タイ語BⅠ・Ⅱ 日本語AⅠ・Ⅱ(外国人留学生のみ) 日本語BⅠ・Ⅱ(外国人留学生のみ)	Critical Reading Critical Discussion Critical WritingⅠ・Ⅱ ドイツ語Ⅲ・Ⅳ(総合) ドイツ語Ⅲ・Ⅳ(講読) ドイツ語Ⅲ・Ⅳ(会話) フランス語Ⅲ・Ⅳ(総合) フランス語Ⅲ・Ⅳ(講読) フランス語Ⅲ・Ⅳ(会話) スペイン語Ⅲ・Ⅳ(総合) スペイン語Ⅲ・Ⅳ(講読) スペイン語Ⅲ・Ⅳ(会話) 中国語Ⅲ・Ⅳ(総合) 中国語Ⅲ・Ⅳ(講読) 中国語Ⅲ・Ⅳ(会話) 韓国語Ⅲ・Ⅳ(総合) 韓国語Ⅲ・Ⅳ(講読) 韓国語Ⅲ・Ⅳ(会話) タイ語Ⅲ・Ⅳ(総合) タイ語Ⅲ・Ⅳ(講読) タイ語Ⅲ・Ⅳ(会話) 日本語AⅢ・Ⅳ(外国人留学生のみ) 日本語BⅢ・Ⅳ(外国人留学生のみ)	English SeminarⅠ・Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 英語音声学 ドイツ語Ⅴ・Ⅵ ドイツ語演習 フランス語Ⅴ・Ⅵ フランス語演習 スペイン語Ⅴ・Ⅵ スペイン語演習 中国語Ⅴ・Ⅵ 中国語演習		12		
	クリエイション科目群	メディア・リテラシー 美学・芸術学 演劇学 音楽論	身体コミュニケーションA・B メディア・アート	デジタルアートⅠ・Ⅱ メディア言語論		2		
	リサーチリテラシー科目群	科学リテラシー 論理リテラシー 数理リテラシー 統計学A・B	社会調査法A・B	社会調査実習 質的調査分析法 データ解析論Ⅰ・Ⅱ		2		
	コース学際科目群	情報コミュニケーション学入門A～D		(学際講義)情報コミュニケーション学		6		
		国際交流				-		
コース 共通 科目 群	社会科学	法学 政治学 ミクロ経済学 マクロ経済学 日本事情ⅠA・B(外国人留学生のみ)	日本事情ⅡA・B(外国人留学生のみ)	経済思想史 社会思想史 人口学Ⅰ・Ⅱ 現代政治学Ⅰ・Ⅱ		いずれかの 分野から 6単位		
	人文科学	日本史概論A 言語学 英米文学 日本文学 地誌学 宗教学 外国文学		倫理学 文化交流の世界史 近・現代史Ⅰ・Ⅱ 英語の文化と歴史 日本史概論B				
	情報科学	科学技術史 情報科学 情報検索論 情報倫理		情報デザイン論 情報と職業 情報社会と安全A・B 情報システム論 科学技術と人間				
コース 専門 科目 群	社会システムと公共性	(情報コミュニケーション学入門A) 憲法 市民社会と法Ⅰ・Ⅱ 犯罪と法Ⅰ・Ⅱ 情報社会と経済 環境と社会		情報社会論Ⅰ・Ⅱ リスク社会論 知的財産法Ⅰ・Ⅱ 情報法 情報政策論A・B 国際関係論Ⅰ・Ⅱ	人権と憲法Ⅰ・Ⅱ 財産と法Ⅰ・Ⅱ 現代型犯罪と刑法Ⅰ・Ⅱ 紛争解決システム論Ⅰ・Ⅱ 環境政策Ⅰ・Ⅱ	行政法と行政過程Ⅰ・Ⅱ 政策過程論 公共政策A・B 人権政策 環境政策Ⅰ・Ⅱ	ジェンダーと法Ⅰ・Ⅱ 法コミュニケーション 少年犯罪と法 家族と法Ⅰ・Ⅱ	コース科目 26単位
	組織とコミュニティ	(情報コミュニケーション学入門B) 社会学A・B 会計学 経営学 組織論 コミュニティ論 小集団コミュニケーション 社会心理学Ⅰ・Ⅱ		ネットワーク社会論 組織と情報 組織コミュニケーションA・B コミュニケーション思想史 都市社会学	ソーシャルビジネス論 ビジネスと法A・B コーポレート・ガバナンスⅠ・Ⅱ 金融システム論Ⅰ・Ⅱ 意思決定論Ⅰ・Ⅱ	社会福祉学A・B NPO論 ユニバーサルデザイン 情報社会と教育A・B 情報産業論	ジェンダー・マネジメントⅠ・Ⅱ 家族社会学Ⅰ・Ⅱ 家族心理学	コース科目 26単位
	多文化と国際協調	(情報コミュニケーション学入門C) 比較文化(基礎)A・B ジェンダー論 地理学 西洋史 東洋史 異文化理解・適応 異文化コミュニケーション史		異文化間コミュニケーション 多文化と相互理解A・B 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 経済統合論 国際協調論	都市情報論 情報文化論 社会文化史Ⅰ・Ⅱ ジェンダー文化史 国際社会とジェンダー	日本文化論A・B 地域文化論(英語圏)A・B 地域文化論A～D 比較文学・比較文化AⅠ・AⅡ 比較文学・比較文化BⅠ・BⅡ	人文地理学 自然地理学	コース科目 26単位
	メディアと環境	(情報コミュニケーション学入門D) 哲学 生命論Ⅰ・Ⅱ 人類学A・B 心理学A・B 脳科学 環境科学		メディア論 マスコミュニケーション論A・B ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ 政治とメディア メディア批評 メディアの歴史	不確実性下の人間行動 情報と経済行動 情報社会と出版 情報社会と芸術 記号論 広告論	生命思想史Ⅰ・Ⅱ 認知科学 情報行動の心理学 不思議現象の心理学 人間性心理学 環境心理学	身体と意識 身体表現論 造形表現論 音楽表現論 映像表現論 アート・マネジメント	コース科目 26単位
ウェルネス科目群	ウェルネスA ウェルネスB	ウェルネス・スポーツA ウェルネス・スポーツB	ウェルネス・スポーツC	ウェルネス・スポーツD		-		
キャリアデザイン科目群	キャリアデザイン	インターンシップ入門	実践キャリア支援講座 ※2023年度以前「インターンシップ」			-		
総合講座	総合講座A・B・C・D 先端講座 ジェンダーを考える(総合講座)A・B					-		
国際教育プログラム科目	基幹科目(異文化理解)Ⅰ・Ⅱ 基幹科目(文化・歴史)Ⅰ・Ⅱ 基幹科目(法律・政治)Ⅰ・Ⅱ 基幹科目(経済)Ⅰ・Ⅱ ※2023年度より廃止					-		
総単位						124		

卒業・進級・卒業見込に必要な単位（2013年度から2016年度入学者用）

情報コミュニケーション学部では、原則として4年以上在学し、下表に示された単位を修得した者に、学士（情報コミュニケーション学）の学位が授与される。

科目区分	必要修得単位	必要修得単位内訳	内訳（要件等）
基礎教養科目部門	6	6 (選択必修)	選択した科目群から、さらに6単位を修得しなければならない。ただし、「ICTエレメンタリー」を含めない。
	情報リテラシー科目群	4 (選択必修)	4単位以上を修得しなければならない。ただし、「ICTエレメンタリー」を含めない。
	ことばとコミュニケーション科目群	6 (選択必修)	日本語表現A（作文）及び日本語表現B（文章理解）のうちから2単位以上、コミュニケーション基礎Ⅰ及びコミュニケーション基礎Ⅱのうちから2単位以上を選択必修とし、同科目群のうちから合計6単位以上を修得しなければならない。
	外国語科目群	12 (選択必修)	2言語を選択し各6単位以上（English SeminarⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ及び英語音声学は含めない。）を修得しなければならない。ただし、外国人留学生については、選択する1言語を日本語とする。
	クリエイション科目群	2 (選択必修)	2単位以上を修得しなければならない。
	リサーチリテラシー科目群	2 (選択必修)	2単位以上を修得しなければならない。
コース科目部門	コース学際科目群	4 (選択必修) 2 (選択必修)	情報コミュニケーション学入門A～Dから選択したコースに対応する科目を含む2科目4単位及び情報コミュニケーション学の合計6単位を必修とする。
	コース共通科目群	6 (選択必修)	社会科学、人文科学又は情報科学の区分のうち1つの区分から6単位以上を修得しなければならない。
	コース専門科目群	26 (選択必修)	選択したコースの科目のうちから26単位以上修得しなければならない。
自由に選択できる科目	54		次から単位修得すること。 ※ 学部設置科目において最低修得単位数を超えた単位数は自動的に「自由に選択できる科目」の修得単位数となる。 ※ 学部設置科目外の卒業単位認定科目（下記参照）について40単位まで認められる。 1 学部間共通外国語科目 2 他学部履修科目 3 留学生共通日本語科目 <2015年度以降入学者のみ> 4 国際協力人材育成プログラム科目 5 日本ASEAN相互理解プログラム科目 6 グローバル人材育成プログラム科目 (4・5・6について認められるのは16単位まで) ※ 編入などの場合には40単位を超えて認定する場合がある。 ※ 資格課程開講科目は卒業単位認定科目に含めることができない。
合計	124	70 (必修2) (選択必修68)	

【進級条件】（2年次終了時に、次の条件を満たしていないと3年次に進級することができない。）
2年次終了までに卒業要件内単位のうち40単位以上修得すること。

【卒業見込】

4年次に在籍し、3年次終了時に卒業要件内単位のうち76単位以上修得している者は、卒業見込み者として認定する（希望により、卒業見込証明書を発行する）。

【卒業のための付加条件】

4年次においては、12単位以上修得しなければならない。

【メディア授業科目の算入】

メディア授業科目を履修し修得した単位は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち60単位を超えないものとする。毎年度の授業計画により、授業の実施方法を変更することがあるため、メディア授業科目の対象科目及び履修上の注意事項は必ず各年度の各シラバスを参照すること。

IV 社会調査士および CCNA 資格について

<社会調査士について>

(1) 社会調査士の特徴

この資格は、社会調査を実施できる知識と技能を有していることを証明するものです。社会調査には、マーケティング調査、地域における意識調査などさまざまな種類があります。いずれも社会科学的な手法に従って多様な社会現象を解析し、諸現象の因果関係などを明確に提示するのに有効な手段となっています。社会調査によるデータ分析があればこそ、行政や企業は有効な施策や戦略を立案できるのです。現代社会において重要な役割を果たす社会調査の技能を証明するこの資格は、社会貢献やビジネス参加への意欲とともに活用すれば、就職活動にも効果的にアピールできるでしょう。2024年4月時点において、明治大学では情報コミュニケーション学部のみが科目認定を受けています。

さらに、大学院情報コミュニケーション研究科へ進学すると、「専門社会調査士」の資格を取得可能なカリキュラムも用意されています。

(2) 資格の取得に必要な科目

情報コミュニケーション学部設置科目のなかから、社会調査協会に認定された以下の科目を修得して卒業すると、試験を受けることなく社会調査士の資格を得る条件を満たします。

◆社会調査士の資格取得に必要な科目（EとFはどちらか一方を選択必修）

区分	科目名	履修開始年次	内容
A	社会調査法A	2年	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査法B	2年	調査設計と実施方法に関する科目
C	統計学A or 専門情報リテラシー(社会統計)	1年	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	統計学B or 専門情報リテラシー(心理統計)	1年	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	データ解析論 I・II (I・IIいずれも同年度に要修得)	3年	量的データ解析の方法に関する科目
F	質的調査分析法	3年	質的な調査と分析の方法に関する科目
G	社会調査実習	3年	社会調査を実際に経験し学習する科目

※「専門情報リテラシー」、「データ解析論 I・II」、「社会調査実習」は受講者数の制限があります。

(3) 資格の申請方法

大学を通じて社会調査協会に申請することによって以下のとおり資格を取得することができます（別途、社会調査協会への認定審査手数料が必要です）。

①社会調査士の取得見込み資格の申請（3年次の6月・10月ごろ）

在学中、希望者は「大学の在籍期間が1年以上、かつ3科目修得済み・さらに2科目以上の履修登録済みであること。」の条件を満たした場合、社会調査士資格を取得見込みであることを証明する「社会調査士（キャンディデイト）」の資格が申請により取得可能です。

②社会調査士の本資格の申請（4年次の1月ごろ）

学部を卒業する際に、本資格の申請を行うことで社会調査士の資格が授与されます。

参考ホームページ：<http://jasr.or.jp/>（一般社団法人社会調査協会）

<CCNA(Cisco Certified Network Associate)資格について>

(1) 資格の特徴

この資格は、ネットワーク関連製品の最大手であるシスコシステムズ社が認定する資格の一つで、中小規模のネットワークの構築、管理、運営のために必要な知識を十分に持っていることを証明するものです。CCNA 資格の取得はインターネット社会への理解を深めるのに役立つのはもちろん、就職にも有利となるでしょう。とりわけネットワーク技術者を目指す人にとっては、CCDA、CCNP、CCIE といった上級資格を取得するための第一歩になります。

(2) 資格の取得方法

シスコ技術認定試験を受験し合格することで取得が可能です。情報コミュニケーション学部では、CCNA 資格の取得のための授業として「ネットワーク技術Ⅰ～Ⅳ」が用意されています。CCNA 資格の取得に必要な知識はこれらの授業の中にすべて盛り込まれていますので、順を追ってしっかりと学習していけば、ネットワーク技術Ⅳを履修し終える頃には資格を手にする力が付いていることでしょう。授業には、動画や音声を活用したウェブ教材が用意されていて自分のペースで学習を進めることができるようになっています。また実際のネットワーク機器を使ってネットワークを構築する実習も取り入れられており、ネットワーク技術者としての基本的かつ実践的な知識を身に付けることができます。

- ・ 関連サイト：シスコ技術者認定について

https://www.cisco.com/c/ja_jp/training-events/training-certifications/certifications.html

V 明治大学教務システムについて（1～4年共通）

明治大学教務システムマニュアル

1. WEB 履修登録について

WEB 履修登録は Oh-o! Meiji システムとは別の＜明治大学教務システム＞で行います。

操作方法は以下のページからご確認ください。

WEB 履修登録操作手順 (大学 HP)

(<https://www.meiji.ac.jp/koho/edu/mkmht000001mc9ke.html>)

2. サポート体制について

- ・施設利用時間等利用に関する詳細は、各キャンパスのメディア支援事務室で確認してください。
- ・学内のパソコン設置教室等の施設では、履修内容に関する質問は一切受け付けられません。質問がある場合は、情報コミュニケーション学部事務室に来室してください。

キャンパス	場 所
和 泉	■和泉メディア棟2階 メディア自習室
駿河台	■リバティタワー 中央図書館1階 ■12号館8階 メディア自習室1

3. WEB 履修システム全体に不具合が生じた場合について

- ・WEB 履修申請において、履修できるはずの科目が登録できない場合や動作に不具合が生じた場合は、速やかに情報コミュニケーション学部事務室へご連絡ください。
- ・WEB 履修登録システム全体に不具合が生じ、登録不能となった場合には、Oh-o!Meiji お知らせ機能にて周知しますので、こまめに確認して下さい。

4. 明治大学教務システム 履修登録以外の機能について

明治大学教務システムでは以下の機能もあります。

- ・ 時間割の確認 ・ 成績の確認 ・ 健康診断情報の確認

詳細は以下からご確認ください。

明治大学教務システム (大学 HP)

(<https://www.meiji.ac.jp/koho/edu/mkmht000001mdtsa.html>)

WEB 履修に関する F A Q

Q 1 : パスワードを忘れてしまいました。

A 1 : ログインには、MeijiID (Oh-o!Meiji と同一) が必要です。忘れてしまった場合は速やかに情報コミュニケーション学部事務室に連絡し、再発行の手続きをしてください。

Q 2 : パスワードを何度入力してもログインできません。

A 2 : 学生番号及びパスワードは、すべて半角で入力していますか？何度試してもパスワードが分からない場合は学生証を持参して学部事務室までお越しください。

Q 3 : 時間割表にのっている科目を登録しようとしたのですが、画面上に表示されません。

A 3 : 所属学部、学年、カリキュラムによって履修できる科目が異なります。履修できない科目は表示されません。その科目が本当に履修できる科目なのかも一度確認してください。履修できるはずの科目が表示されない場合は、学部事務室まで申し出てください。

Q 4 : 登録したはずの科目が登録されていません。

A 4 : 科目を選択後、「講義選択」ボタンは押しましたか？また、全ての科目を登録後、ページ下部の「登録内容確認」を押したうえで、「登録実行」押しましたか？これらの全てのボタンを押さないと科目は登録されません。

Q 5 : 削除したはずの科目が消えていません。

A 5 : Q 4 と同様に「登録実行」まで対応したかご確認ください。

Q 6 : 集中講義を履修したい場合はどうすればいいですか？

A 6 : 履修登録画面右下の「集中講義選択」から選択してください。

Q 7 : 「全学共通総合講座」の登録方法が分かりません。

A 7 : 講義検索画面で、学部を「自学部」、曜日、時限を選択すると科目が表示されます。

Q 8 : 他学部科目を履修したい場合はどうすればいいですか？

A 9 : 履修登録期間中（本登録）に明治大学教務システムから登録します。他学部科目の登録は、講義検索ボタンから行います。学部を絞って検索したい場合は、詳細条件の主催区分から検索したい学部を表示させてください。履修登録期間中に WEB 履修登録画面に表示される科目が受講できる科目です（履修登録期間中にのみ表示されます）。一部の学部では、他学部生が受講できる（できない）科目リストを公開しています。

Q 9 : 履修申請する期間は、春学期と秋学期の両期間ですか？

A 9 : そのとおりです。必ず、秋学期分も忘れずに申請してください。

Q 10 : ログインできない時間はありますか？

A 10 : あります。一部時間帯は保守点検作業のため、ログインできません。時間に余裕を持って登録してください。

Q 11 : 履修登録期間終了後に、時間割を変更することはできますか？

A 11 : 履修修正期間を設けていますので、期間内に 明治大学教務システムにて行ってください。履修修正期間では、一部履修修正（追加・削除）できない科目があります。必ず事前に修正できる科目を本シラバスで確認をしてください。なお、履修修正期間終了後は、学生の都合による履修修正には応じかねますので、必ず期間内に手続きをしてください。

Q12：履修登録時のエラーメッセージについて、具体的には何が原因で表示されるのですか？

A12：何らかの理由で履修登録ができない場合は、画面上部にエラーメッセージが表示されます。エラーの内容に心当たりがない場合は、学部事務室まで申し出てください。ただし、すべてのエラーが表示されるわけではありません。最終的な履修エラーは、ポータルページで表示される「個人別時間割表」で必ず確認してください。

VI その他資料

資料 1

情報コミュニケーション学部 シラバス用語集

1 科目について

カリキュラム	学部で定めている教育課程。授業科目名、教育内容、単位数、配当年次等で体系化されている。
科目区分	各科目のまとまりのこと。「学際科目群」「専門科目群」「外国語科目群」「研究方法・表現実践科目群」「海外留学科目群」など。
集中授業	一定期間（短期間）に集中して授業を行う形態。夏期・春期等に行われることが多い。
通年科目	春学期、秋学期と1年間を通じて授業を行い、単位を付与する科目。
半期科目	春学期又は秋学期に授業を行い、単位を付与する科目。
クォーター科目	半期科目を、7週完結で開講する科目。 開講期間は春学期前半集中（S1）・春学期後半集中（S2）、秋学期前半集中（F1）・秋学期後半集中（F2）のいずれかとなる。
ゼミナール科目	教員ごとにテーマを定めて少人数で行う授業。 本学部では、1年次に「基礎ゼミナール」、2年次に「問題発見テーマ演習A・B」、3・4年次に「問題分析ゼミナールI・II」および「問題解決ゼミナールI・II」がある。
メディア授業科目 ※ [M] の表記がある科目	全授業回のうち、半数以上をオンデマンド型授業として実施する科目。 メディア授業科目を履修し修得した単位は、卒業要件として修得すべき単位のうち、60単位を超えないものとする。 対面で定期試験を実施する科目もあるため、履修登録前にシラバスを確認すること。

2 単位について

単位	授業科目を履修することによって、修得される時間の換算数のこと。 1単位は授業時間と学生の自習時間を合わせて1週3時間、1学期14週、合計45時間の学習時間をもって付与される。
単位認定	他大学等で修得した単位（留学等）などを本学部の単位として認定すること。
履修上限単位	該当年次（学年）に履修する科目の上限単位数。
履修開始年次	教育課程における学習効果を高めるため、授業科目の履修を認める年次（学年）を指定すること。自分の学年より下級年次配当の科目は履修可能だが、上級年次の科目は履修することができない。
単位修得	履修した科目を修め、その科目の単位を得ること。
進級条件	進級するのに必要となる条件。本学部では、2年次終了までの総修得単位数が40単位に満たない場合、3年次に進級できない。
修業年限	学校の教育課程を修了する上で必要と定められた年数。大学は4年と定められており、卒業するにはこの修業年限の年数の間在学しなくてはならない。
早期卒業制度	学部の修業年限を短縮し、3年間の在学で卒業を認める制度。学部で定められた条件を満たさなければ認められない。

3 履修について

履修	授業科目を届け出、授業を受講すること。履修登録、履修変更、履修制限などの用語があるが、詳細は履修手続き時に確認のこと。
履修届	学生がその年度に履修する科目を大学に届け出る用紙のこと。本学部では、WEB履修申請システムを利用して行うので、年度始めの履修登録期間中には使用しないが、履修変更や修正時に「履修変更届」としてマークシート用紙等を使用する。
再履修	下級年次で履修した科目が不合格（または未受験）となった科目を、上級年次で再度履修すること。
他学部履修	本学部以外の学部の授業科目を履修すること。履修にあたっては、授業科目や単位数などに制限があるので注意すること。
WEB履修登録	学生が履修するにあたって、Web（インターネット）上で履修の登録をすること。
個人別時間割表	履修登録後に、履修科目を確認するために通知される各自の時間割表のこと（Oh-o!Meiji クラスウェブにて公開）。履修にエラーが出る場合は、この時間割表に表示される。必ず確認をして、エラーの履修修正の手続きをとること。
パスワード	本学には、情報サービスを利用するための共通認証パスワードがある。各自で自分のパスワードについてはしっかり管理すること。
Oh-o!Meiji システム	ネットワークを利用した本学教育学習支援システムの名称。
ポータルページ	Oh-o!Meiji システムの機能の一つ。Web を使って、学生生活に関する情報を得ることができるシステム。事務室からの呼び出しの連絡もここに表示される。
クラスウェブ	Oh-o!Meiji システムの機能の一つ。Web を使って、授業情報を得たり、レポート提出を行うシステム。

4 試験・成績について

GP	Grade Point の略称。「S・A・B・C・F」の成績評価に応じて、それぞれ「4・3・2・1・0」のポイントを与える。
GPA	Grade Point Average の略称。GP の平均点のこと。 計算式は「各科目のGP」×「各科目の単位」÷全履修登録単位数。
成績通知書	学期、学年を終了するごとに通知される単位修得状況を記載したもの（明治大学教務システムにて公開）。成績を証明する書類は「成績証明書」となる。
定期試験	春学期末、秋学期末に実施される試験のこと。日程は学年暦を参照すること。
特別試験	やむを得ない事由により、定期試験を受験できなかった学生に対して、実施される試験のこと。所定の手続きが必要である。

5 その他

学年暦	大学での行事等のカレンダーのこと。1年間の予定を記したものであり、これに則って授業や定期試験が行われる。
ガイダンス	学生指導、学習指導を目的とした案内のこと。毎年度始めには、履修に関する各種のガイダンスが行われる。

資料 2

学生諸君へ

レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意

明治大学

昨今、授業の課題として課せられるレポートや論文を作成する際に、他人の文章（書籍・論文・Web ページ）をそのまま無断で借用したり、他の学生が作成した文章をあたかも自分の文章であるかのごとくみせかける剽窃（ひょうせつ）（盗用）行為が目立つとの指摘が多く、教員から寄せられています。

大学としては、このようなことは看過できませんので、学生諸君は、以下の点によく注意をしてレポートや論文を作成するようにしてください。

(1) 剽窃（盗用）行為は社会的に許されない行為

剽窃行為は、他人の学問的業績を無断で借用することであり、学問のルールに反するだけでなく、場合によっては他人の著作権を侵害する犯罪行為にもなる社会的に許されない行為です。

(2) 剽窃（盗用）行為とみなされる事例

次のような行為は、剽窃（盗用）とみなされます。また、これに類似した行為や剽窃を助ける行為（レポート等のひな形を作成して他人に見せること等）も同様です。

○活字媒体（書籍・雑誌・新聞等）や Web サイト等に掲載された他人の文章（無署名であっても）や資料等を出典を示さずにそのまま使い、あるいは前後関係や語句を若干変更した程度でレポート・論文を作成すること。

○引用した部分を具体的に示さず、レポート・論文の最後に「○○参照」などと簡単に触れるにとどめること。

○他人が作成した文章をあたかも自分が作成したかのごとくみせかけて、あるいは前後関係や語句を若干変更してレポート・論文を作成すること。

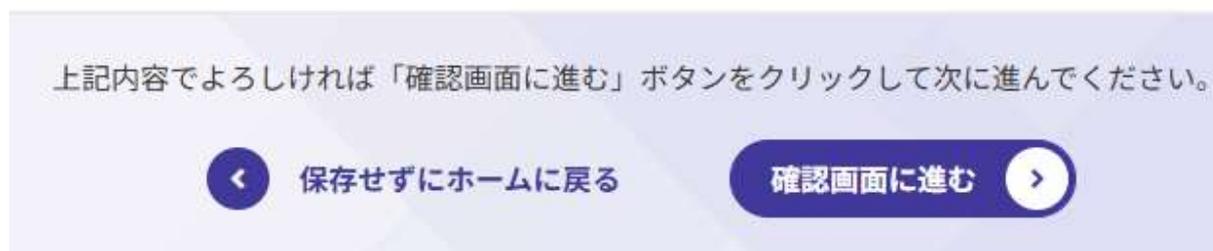
(3) 剽窃（盗用）行為は処分の対象

定期試験に代えて実施されるレポートや論文の場合、剽窃あるいは剽窃を助ける行為が明らかであれば、定期試験での不正行為（カンニング）と同様の処分（その科目のみならず当該期の全登録科目の不合格や停学処分等）の対象となることがあります。

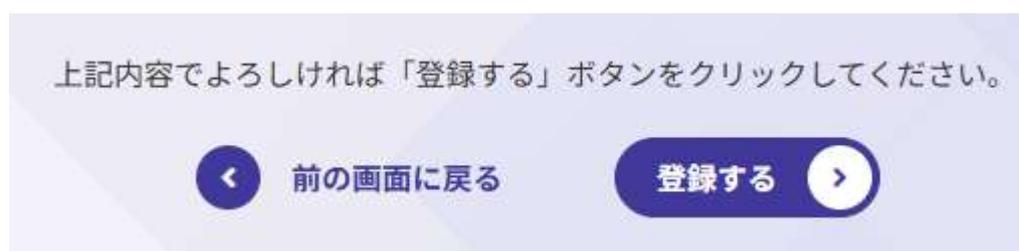
1. 個人設定をクリック

2. 個人設定「お知らせ転送設定」で、転送メールアドレスを入力、
カテゴリごとに転送有無・内容を設定

3. メールアドレス入力、転送設定が完了したら「確認画面に進む」をクリック



4. 確認画面で設定に問題が無ければ「登録する」をクリック



情報コミュニケーション学部 時間割作成用シート

履修申請単位数	
履修単位上限: 共に半期24単位	
春学期	秋学期
単位	単位

時限	曜日	1時限目			2時限目			3時限目			4時限目			5時限目		
		9:00-10:40			10:50-12:30			13:30-15:10			15:20-17:00			17:10-18:50		
		科目名	教員名	単位数	科目名	教員名	単位数	科目名	教員名	単位数	科目名	教員名	単位数	科目名	教員名	単位数
月	春				春			春			春			春		
	秋				秋			秋			秋			秋		
火	春				春			春			春			春		
	秋				秋			秋			秋			秋		
水	春				春			春			春			春		
	秋				秋			秋			秋			秋		
木	春				春			春			春			春		
	秋				秋			秋			秋			秋		
金	春				春			春			春			春		
	秋				秋			秋			秋			秋		
土	春				春			春			春			春		
	秋				秋			秋			秋			秋		

(曜日時限の指定がない) メディア授業科目等	春				春			春			春		
	春				春			春			春		
	秋				秋			秋			秋		
	秋				秋			秋			秋		

※上限単位に含まない科目などについては、シラバス・便覧等で確認すること